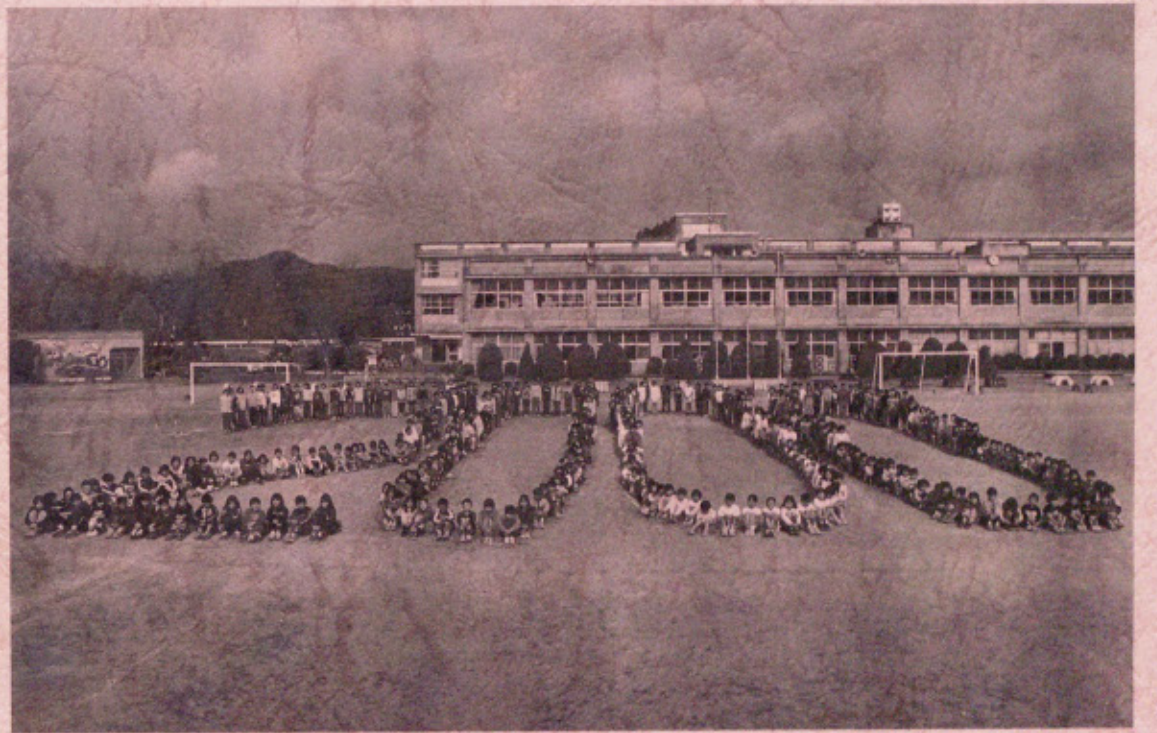


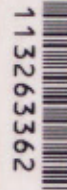
雲雀つ子

創立60周年記念誌



岐阜県各務原市立那加第二小学校

各務原市図書館



113263362



目 次

目 次	1
ごあいさつ	PTA会長 坪井 晋 2 学 校 長 土屋 勝司 3
第1部 輝かしい歴史をきざんで	4
(学校創立から50年まで)	
・特集 終戦直後の教科書 (実際に那加第二小で使われたもの)	
第2部 発展と充実	25
新しい未来に向かって	
(41年目から平成12年度)	
・特集 地図で見る校区の変化 昭和22年・昭和45年・平成6年	
第3部 資料編	51
・平成元年からの職員一覧	
・平成元年からのPTA三役一覧	
引用文献一覧	55
この2年間の那加第二小 新聞記事に見る母校	56
編集後記	PTA副会長 今尾 春由 59 教 頭 田中 教悟
60周年実行委員会組織	60

プラタナスの森

校長 土屋勝司

私の知り合いの中に、那加第二小学校の卒業生の方が何人かいらっしゃいます。その方たちのお話を聞くと、「当時の学校の面影が一番残っているのはプラタナスの森ですね。」とおっしゃいます。

校長室の外の廊下の壁に、素敵な絵が飾られています。「校庭の秋」と題されたその絵は、本校の3回生で岐阜大学教育学部名誉教授の御宿正司先生がご寄贈下さったものです。生き生きとして、力感のあるプラタナスの木々が描かれていて私にも勇気を与えてくれます。



開校当時幼かったプラタナスの若木も、それから60年を経て今は大木となり子どもたちの憩いを作っています。残念なことに台風が来る度に1本、2本と倒れていきますが、それに替わってまた新たな若木が成長しています。

昭和15年に創立された本校は、今年の3月31日をもって満60歳になりました。人間で言えば還暦を迎えたことになり、ほんとうにおめでたいことだと思います。

そういう記念すべき年に、伝統ある学校に勤めさせていただいている幸せを噛み締めつつ、校長として新なる責務を感じています。

卒業生の皆さんの思い出であり、現在在学中の子どもたちの憩いの場となっている『プラタナスの森』を那加第二小学校のシンボルとして守り育てていくことも責務の一つと考えています。

平成12年9月吉日

『21世紀を担う子供たち』

PTA会長 坪井 晋

『那加第二小学校創立60周年』おめでとうございます。

サラリーマンで言えば、「大きな仕事をやり終えて、さあ第二の人生をはじめるぞ。」といったところでしょうか。

おりしも今年が西暦2000年。20世紀が終わり21世紀が始まる年度です。この一致が、那加二小の明るい未来を約束してくれているような気がします。



この60年間に、1万人近い方が、那加二小を卒業して行かれました。

創立当時よりの先生方・保護者の方々・卒業生の皆様、多くの先輩方のご苦勞のうゑに現在的那加二小があるのだと感謝しております。

今、「情報化時代」・「国際化時代」と言われておりますが、わが那加二小にも30余台のパソコンが置かれ、インターネットで世界につながる環境が整備されています。パソコンでCDを使った英語の授業が行なわれたり、アメリカ人の先生が英語を教えてください、私たちが子供のころには考えられなかったような小学校教育が始まっており、10年先にはどうなるのかさえ想像しかねます。

このように教育環境はどんどん進歩していますが、子供たちの心の環境はむしろ退歩しているように思います。

車社会・自然破壊・核家族化・少子化等により、『自然の中でのびのび遊び、生き物をいたわり、経験豊かなおじいさん・おばあさんに、しかられ、ほめられ、昔のことを教わり、やさしい気持ちを育て、多くの兄弟姉妹の中で社会への対応を学ぶ。』

そうした大事な部分が減りつつあることに、親として危惧をいだかざるを得ません。

地域の皆様にご協力いただき、家庭や学校で足りない部分を補っていただけるとありがたいと思っております。

そんな思いもあり、PTAが一体となって開催している「学校開放デー」は子供たちと保護者の方々だけでなく、地域の皆様にも気軽に参加していただけるような企画をしております。

今年が創立60周年ということで特に、那加二小を卒業された先輩に講座をお願いしたり、各務原市が全国に誇るホッケーを採り入れたり、国際色を盛り込んだりしてみました。

多くの方々のご協力を賜り無事開催できましたこと、改めてお礼申し上げます。

これを機会に、地域と学校と家庭とが、さらに硬いスクラムを組み、那加二小が今まで以上に心身共に健やかな子供たちの育つ学校として発展していくことを期待しております。

21世紀を担う子供たちに、幸多からんことを希望してやみません。

第 1 部

輝かしい歴史をきざんで

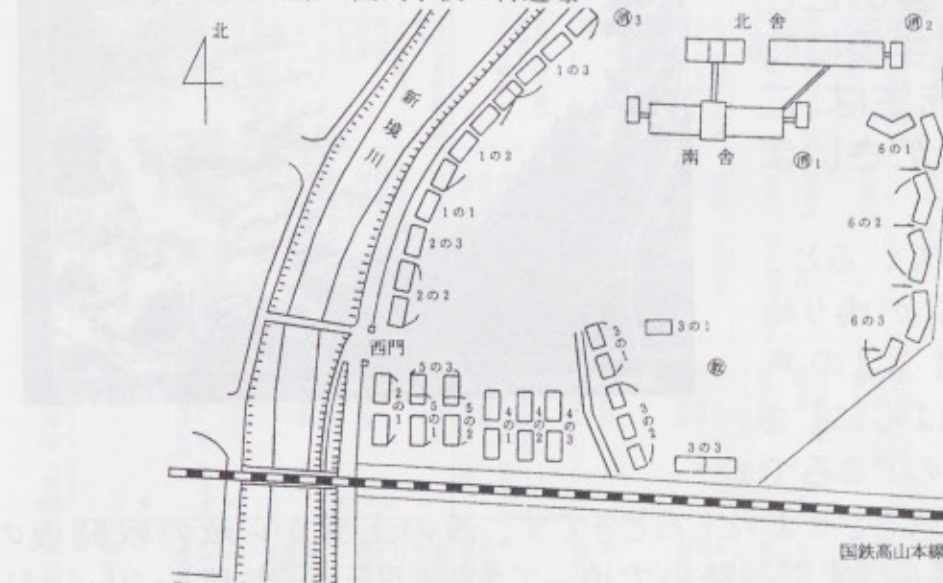
本校創立から50周年まで

学校創立から戦後まで

西暦	元号	本校の主な出来事	世の中の主な出来事
1940	昭和15	・那加尋常小学校から那加第二尋常小学校として独立。開校式をおこなう ・那加第二国民学校と校名を変える	・日独伊三国軍事同盟が結ばれる
1941	16	・太平洋戦争が始まる 国の指導のもと、戦時教育が始まる	・日本がハワイを攻撃する
1943	18	・林間（今のプラタナス公園）に奉安殿ができる	・学徒出陣がはじまる
1945	20	・アメリカ軍の空襲を受け、児童が7名死亡する ・太平洋戦争が終わる	・広島、長崎に原爆が投下される ・日本の各地が空襲の被害をうける
1947	22	・稲葉郡那加町立那加第二小学校と改称する ・文集「つくし」が創刊される	・日本国憲法が施行（前年公布）
1950	25		・朝鮮戦争が起こる。
1951	26	・本校から那加第三小学校が分離独立する	・サンフランシスコ講和条約を結ぶ 日米安保条約をむすぶ
1954	29	・本校で学校給食が開始される	・自衛隊ができる
1955	30	・本校の校歌ができる	

1940年、本校は那加尋常小学校（今の那加第一小学校）から分離独立しました。この地域には、戦争の影響で、飛行機の大きな工場が

図1 那加第二国民学校の待避壕



でき、陸軍の飛行隊もあったために、多くの人々が他の地域から移り住んできて、人の数が増えていました。このころは、戦争の影響で学校も今とは大き

く変わっていました。軍隊のような訓練の授業もたびたびおこなわれていました。

1944年になると、日本の各地がアメリカ軍の爆撃機の空襲を受け

るようになってきました。那加第二小学校では、空襲から子どもたちを守るために避難訓練を毎日のおこないました。図1は、授業中に空襲にあった時の避難場所の図です。

運動場の南側には、まず、プラタナスの木をたくさん植えました。これは夏になるとたくさんの葉をつけ、飛行機からかくれやすくするためでした。そこに子どもたちみんなで、自分の体が入るぐらいの深さ約70センチほどの穴をジグザグに掘りました。もし、空襲があったときには、その穴に逃げるようにしたのです。

空襲だ！

1945年、心配していたように各務原にアメリカ軍の大規模な空襲がありました。右の写真は、今の大東町の南に落ちた1トン爆弾が爆発したところです。写真でみてもわかるように、すごく広い範囲まで影響がありますね。

そのときの空襲のことを、那加第二国民学校につとめていたある先生は、このように話してくださいました。

「教室で勉強をしていると、警戒警報のサイレンが鳴り始めました。『帰る用意』の声に、本をみんなかばんにしまい、すずかけの木のところまで子どもをあつめて下校をさせようとしたときです。西の上空から敵の戦闘機の姿が見えました。こちらにすごい勢いで迫ってきたと思うと、突然『バリバリ』と子どもたちに向かって銃弾を撃ち込んできました。子どもたちは急いで鉄橋の下に入ったり、溝の中に素早く逃げました。誰一人として命を失わなかったことが、すごく安心したことでした。」(各務原の戦時体験から)

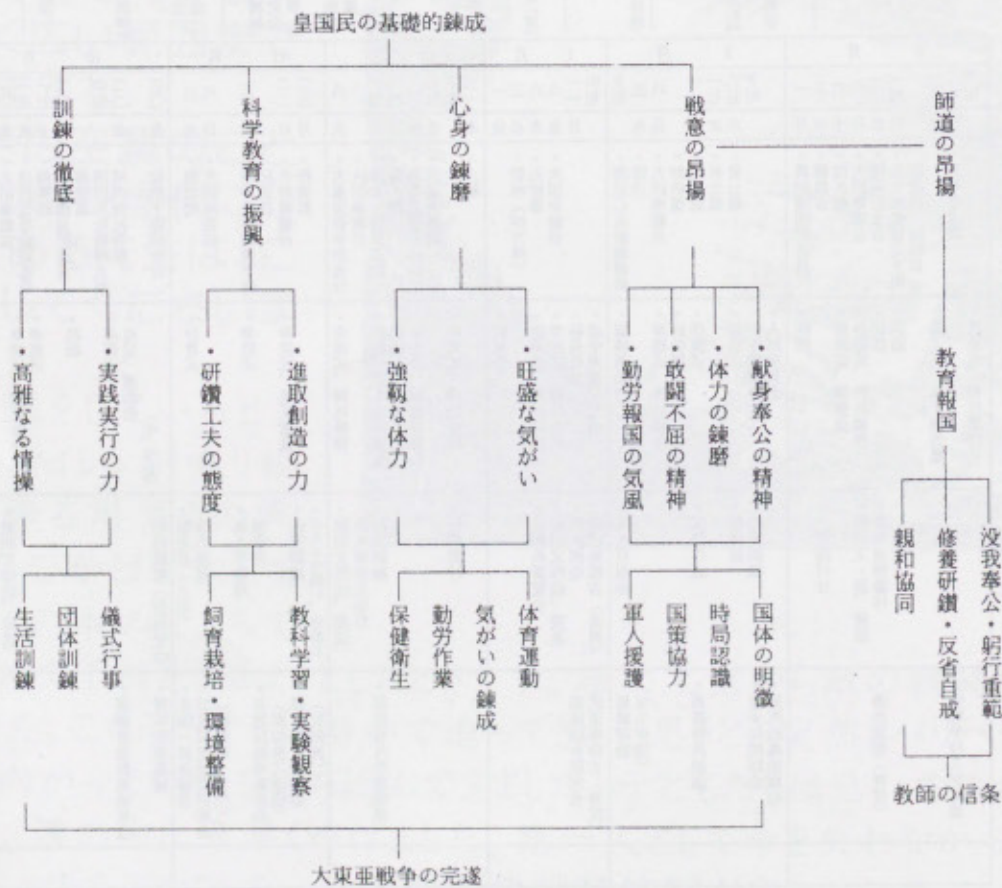
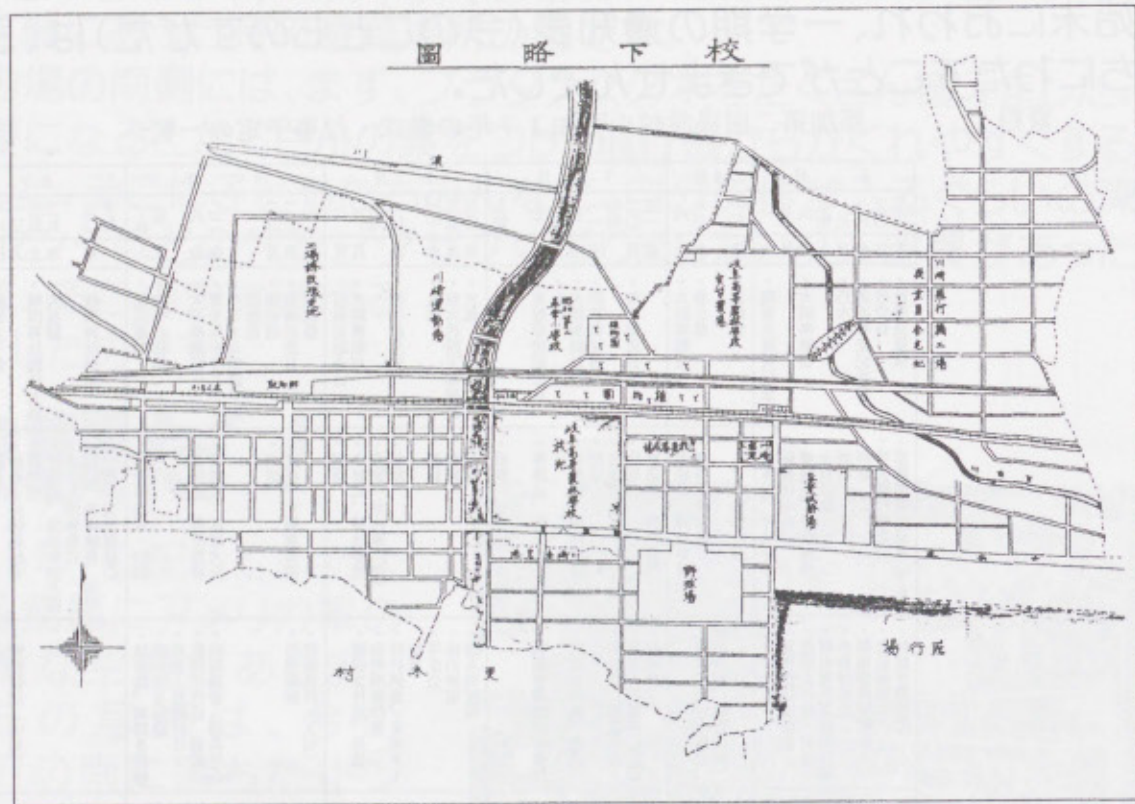


爆発の瞬間閃光が空を覆った(昭和20年6月22日)。ついに各務原にも空か

この影響で、那加第二国民学校では、空襲によって学校の校舎が壊れたり、子どもたちの家庭でも家が壊されたりしたことから、その後始末におわれ、一学期の通知表(今のこどものすがた)は、子どもたちにわたすことができませんでした。

資料1 那加第二国民学校の昭和17年の儀式・行事予定の一覧

9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
三〇八三 水日金日	一五二八 土木土	三〇二八 金月土水	二〇二八 火木水	二〇二五 土水月	二〇二八 金金火	二〇二八 木水土
・秋季祭 ・航空日 ・高津野記念日 ・乃木祭 ・大沼祭 ・開校記念日 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・海の日 ・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭	・大沼祭 ・開東大要員記念日 ・五輪祭 ・大沼祭 ・豊公祭
・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)	・求職児童父兄大会(午包)
・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断
・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断
・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断	・結核早期診断



↑那加第二国民学校の教育目標 (昭和17年度)

戦争が終わる

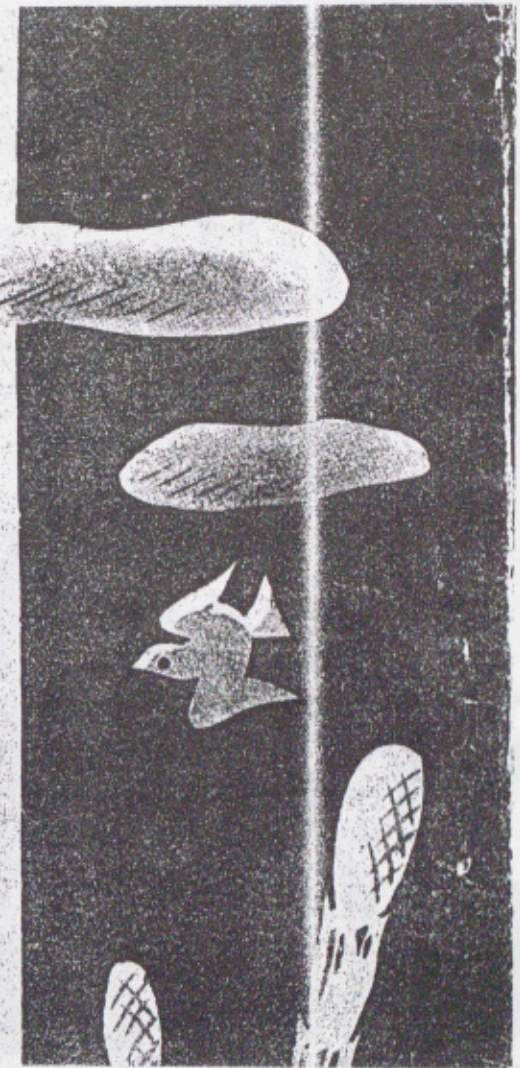
1945年(昭和20年)8月、太平洋戦争が終わりました。戦争では、多くの方々が犠牲になり、毎日生きることにみんなが必死になっていました。

1947年(昭和22年)、こどもたちが毎日明るく過ごしてほしい、そして、未来に向かって正しく歩いてほしいという先生方の願いで、文集「つくし」ができました。

児童文集

昭和22年

つくし



文集「つくし」には、その時代の子どもたちの様々な気持ちがその時代の様子をよく表したのになっていて、今でも続いています。文集「つくし」

には、つぎのような詩が載せられています。

1954年(昭和29年)1月給食室の増改築工事が竣工し、2月8日から学校給食が本校で始まりました。最初の給食の献立は、『ミルク(脱脂粉乳)、パン(こっぺパン)、みそ汁』でした。ミルクはアメリカの援助で粉ミルクをお湯で溶かしたものでした。

ひばりが丘に秋が来て、
真つ白な校舎。
すみきった青空。
光っている。
私たちの学校。
那加第二。
私たちに聞こえてくる。
平和の鐘が、
新しい、力強い、
新日本が待っている。
そうだ！
私たちの手で、
平和日本を作るのだ。
学校文集「つくし」にも、
楽しい、うれしい、
新しい心が、
燃えている。

戦後の那加の町

戦後、陸軍の飛行隊の基地に、アメリカ軍の占領軍がやってきました。今までアメリカ人は、怖いと学校で教えられてきた子どもたちでしたが、アメリカ軍の陽気な様子に、すぐにうちとけ、チューンガムやチョコレートをねだる子どももたくさんいました。

一方、アメリカ軍のキャンプがあった場所の周辺には、今までの日本では見たこともないような様子がありました。人々はそれを、驚きの目で見ていたそうです。そのことは次の新聞記事からもよくわかります。那加第二小校区には、このようにアメリカ

「ピヤホールが軒を連ね、気色ばんだジャズやサンバの曲が流れていた。ピカピカとまばゆいばかりのしゅす製のバスローブ、オルゴール、ネットレスなどをかざりたてたみやげもの店や射的場、キャバレー・・・外の世界とは別世界である。」

【岐阜タイムズ（現在の岐阜新聞）昭和28年11月17日】

軍の関係で働く人々もたくさんいました。

アメリカ軍の軍人と那加の子ども（写真）



学校での学習も、戦争前とは大きく変化していきましました。

当時の教頭先生だった石田先生は、「戦争中は、真剣に戦争

に勝つことを教えてきたし、そういうことしかできなかった。でも、戦後になってアメリカ軍などからいろいろなことを教えてもらって、日本が平和になるならどんなことでもしようと思った。」と話してくださいました。

右の図のように、戦争に関係のあるところはすべて削られ、子どもたちに自分の教科書に墨をぬるようにさせたのです。



そして、小学校の高学年の子どもたちには、新しい民主主義について教えました。その内容の一部が次の資料です。

みなさんの中には、今度の戦争に、おとうさんやいっしょを送りだされた人も多いでしょう。ぶじにおかえりになったでしょうか。それともとうとうおかえりにならなかったでしょうか。また、くうしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやつと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしなくていいと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があったでしょうか。何もありません。ただ、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこっただけではありませんか。戦争は人間をほろぼすことです。世の中のよいものをこわすことです。だから、こんどの戦争をしかけた国には、大きな責任があるといわなければなりません。このまえの世界戦争のあとも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの国々ではいろいろ考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまったのは、まことに残念なことではありませんか。

そこでこんどの憲法では、日本の国が、けつして二度と戦争をしないように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないという、ことです。これからさき日本には、陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄といっています。「放棄」とは、「すててしまふ」ということです。しかしみなさんは、けつして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの国よりさきに行つたのです。世の中に、正しいことぐらゐ強いものはありません。

もう一つは、よその国と争いごとがおこつたとき、けつして戦争によつて、相手をまかして、じぶんのいっぶんをおそうとしないという、ことをきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けつきよく、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、国の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄といふのです。そうしてよその国となかよくして、世界中の国が、よい友だちになつてくれるようにすれば、日本の国は、さかえてゆけるのです。

みなさん、あのおそろしい戦争が、二度と起こらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。

（文部省 新しい憲法の話 より引用）

校歌ができる

昭和30年に本校の校歌ができました。この校歌を作詞された長縄先生は、この歌に、

「新しい日本を、豊かで平和な国にしてほしい。そのために大きな夢と希望をもって一生懸命勉強してほしい」

那加第二小学校 校歌

作詞：長縄半輔
作曲：小木曾 薫

一、雲雀ヶ丘の 朝風に
かおる 若葉の 濁りなく
高い理想の 火をつらね
われらは学ぶ 一すじに
ああ われら
那加第二小学校

二、あふれる胸の 喜びを
句うみどりに はずませて
若い力の 手をつなぎ
われらは伸びる すこやかに
ああ われら
那加第二小学校

という願いをこめられたのだそうです。

特集 那加第二小学校で使われた 終戦直後の教科書



←小学校2年生の社会科の教科書
「まさおのたび」 (この当時は1年生2年生も社会科の授業がありました。)
内容の一部

ボン、ボン、ボン、
どけいがこのつちました。
まさおは、ねどこで大きな目を
ぱちぱちさせています。
あしたは、いなかのおじさんの
うちへいくので、うれしくて、
なかなか ねむれないのです。
みちこは、となりで
ねむっています。
ジャン、ジャン、ジャン
あっ はんしょうです。
しょうぼうじどうしゃが
とんでいきます。
まさおは びっくりして
とびおきました。

小学校3年生用教科書「たろう」→

昭和23年から使われました。

たろうくんが、自分の生活している社会を見学しながら学ぶ様子が示されています。



五 はくぶつかん
(一)

となりのおじさんが、はくぶつかんにいかれる
というので、たろうくんは、みつこさんをさそっ
て、つれていっていただくことにしました。

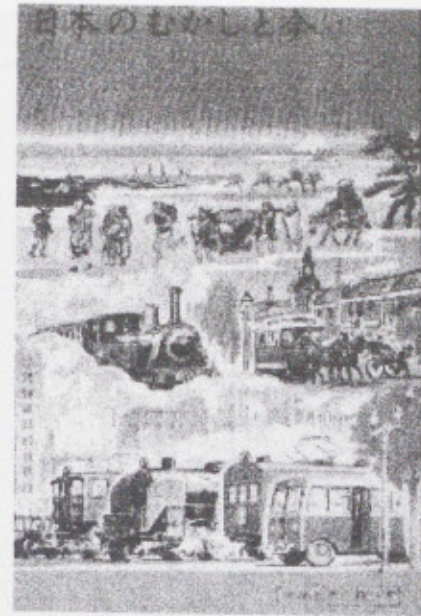
おじさんは、
「うん、はくぶつかんは、まだむりかな。帰りに
は、動物えんにもよろう。」
といわれました。

きょうは、学校が休みなので、おべんとうを
もって、朝からでかけます。いくつかの電車を乗
りかえて、やっとはくぶつかんのある町につきま
した。

はくぶつかんは、大きな森の近くにある、きいろ
い2かいだでのたてものです。おじさんは、入り口
できっぷをかいました。

←小学校4年生の社会科の教科書

「日本のむかしと今」昭和23年から使われました。



おじさんのお話にもあったように、今の世の中は、
むかしにくらべると、いろいろなことが、おどろくほど
べんりになっています。おじさんのお話のなかにでて
きたもののほかに、今の世の中には、どんなべんりな
ものがあるでしょうか。

汽車、汽船、飛行機、水道、時計、えいがと、べんり
なものをかぞえあげれば、かぎりがありません。

もしこのようなべんりなものがなかったとしたら、私
たちのまいにち、まいにちの生活は、どんなにふんで
しょうか。それは、ちょっと考えてみても、すぐわかる
ことです。

ではいったい、こんなべんりな世の中になったのは、
だれのおかげなのでしょう。

これは、むずかしい問題です。こんな世の中になったの
は、けってひとりやふたりの人の力ではありません。人
間の生活をすこしでもよくしたいと思い、自分の仕事にい
っしょうけんめいはげんだ、たくさんのおじさんたちの力がな
かったならば、世の中はけって住みよいものにならな
かったことでしょう。

しかし、そういう人たちのなかでも、とくに目だつ人々
があります。

小学校3年生用の社会科の教科書→

「大むかしの人々」



人間はどんなふうにして、道具をつくるようになった
のでしょうか。

ある日のことでした。人間のそせんは、たべものを
さがして歩いていました。すると、ある大きな森のな
かでおもしろい木の実が、高い枝にいっぱいみのつ
ているのがみつけられました。

しかし、せのびしても、とびあがっても、とてもど
ろろにありません。上のほうは枝がほそいので、
のぼっていても、とちゅうで枝がおれておちてしま
いそうでした。

人間は、うらめしそくに木の実をみあげながら「あ
あ、もっと、手が長かったらなあ。」と、ためいきをつ
きました。

そのころの人間には、きっと、こんなことがなんか
いもあったのだと思います。……

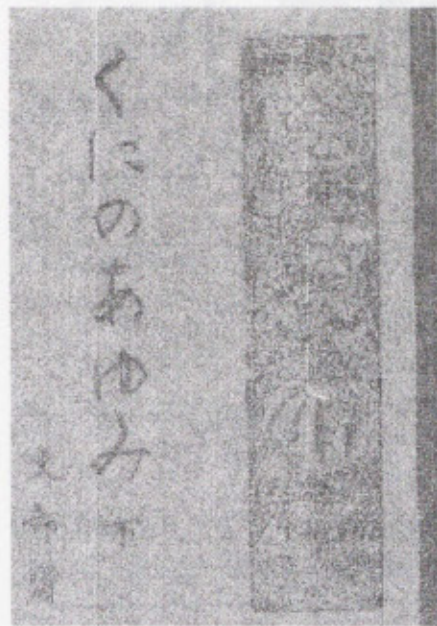
(「大むかしの人々」には、このような文からはじまって、米作り、村づくり、道具づ
くりなどについて丁寧に説明がされてありました。)

←小学校6年生用社会科教科書
「くにのあゆみ」(上・下)

日本の歴史についてまなぶために作られた教科書でした。現在の6年生も、歴史について学びますが、このころの歴史の内容は、通史に力点が置かれていました。

現在のように「人物を通してその時代の特殊性を学ぶ」という内容ではありませんでした。

ただ、終戦直後の歴史の教科書であるがゆえに、GHQの指導もあって、戦前の皇国史観をふまえた歴史の教科書とは大きく変化していました。



このころの教科書は、皇国史観をふまえて作られていた。各々がたがいに権利を認めあひ、もしも間にあつた時には、たがひに相談をするやうに、約束ができました。これと同時に、日英同盟は十分その目的を達したので、やめることになりました。

二 太平洋戦争

大正十五年(西暦一九二六年)十二月二十五日、天皇がおかくれになり、今上天皇が位におつきになつて、年号が昭和と改まりました。

満洲事変 歐洲大陸がすんでから、しばらく平和がつづいておりましたが、このころから、わが国内のありさまが、だんだん変わつて来ました。ことに軍部の力が政治や経済の上にはびこつてきて、世間がさわがしくなり、五・一五事件や二・二六事件のやうな血なまぐさいことがつづきました。そしてとうとう満洲のことから、中華民國との間にいんどうなうづれがで

て、まづこの事変の真相をよくしらべることになりました。その結果は、日本のやりかたは正しくない。満洲も國際法のおきてにそむいてゐる、といふことであつた。同盟がこの報告を聞き入れたので、それに不服であつたわが國は、とうとう聯盟からぬけてしまつた。

この間にわが軍はほとんど攻勢を進めて、北支まで攻め入りました。中華民國の軍もこれをふせぎましたが、北支の近くまでわが軍がきたので、戦ひを中止する相違がまじりました。

支那事変 この満洲事変から六年たったのちに、支那事変がおこりました。昭和十二年(西暦一九三七年)七月、北支の近くの蘆溝橋で、とつぜぬ日支兩軍の間に戦ひがはじまりました。わが軍はすぐに兵を遣つて北支を占領しました。それから青島・上海をおとし、中華民國の都南京を占領し、廣東・武漢・漢口などの重要なところを占領した。蔣介石は東

で、軍部の力がみだかることになり、まじりました。昭和六年(西暦一九三一年)九月、滿洲の奉天の近くで、南滿洲鐵道が、ふいに、ばくはされました。それをきっかけに、滿洲にわたるわが軍が、奉天を攻めてこれを占領し、つづいて各地を攻撃しました。これが満洲事変のおこりです。

中華民國は、この事変について、日本がさきに兵を動かしたことは、東洋の平和をみだすものであるから、すぐに日本の軍隊を引きあげてもらひたい、といつて、これを國際聯盟にうたつた。そのかいけつをたのみました。

事實がおこると一しよに、日本の軍部によつて、奉天を中心として、新しい政府ができました。この政府は、もと清國の宣統帝であつた溥儀を執政にして、新しく滿洲國を建てました。わが國は、すぐにこれを獨立國として取りあつかひ、同盟を結びました。

一方、國際聯盟では、中華民國のうたつたへをきいてうつつて、これを根據地としました。かうしてわが軍の攻撃はだんだんひろまつて、事實はついに長期戦となりました。

支那事変がこのやうにひろがつてしまつたことは、日支兩國の間だけでなく、米英をはじめとして、東洋と關係の深い國にとつてこまることになつてしまつた。時の政府も、はじめはこの事変をできるだけ早くおとめて、支那と仲よくして行きたい、力をつくしたが、戦ひはひろがつて、手がつけられないあつた。坂から石がころがるやうに、大へんな勢ひになつてしまつた。かうなつたので、政府も、この戦ひは、東支に新秩序をつくるのが目的である、國の内

←小学校5年生用の社会科の教科書
「村の子ども」

この教科書の特徴は、民主主義を具体的に世の中から見つけていき、それを学校の生活に生かしていくようにしてあることでした。たとえば、学級新聞の作り方を実際の新聞社を取材する内容をもとにして学んだり、村の中にある生活にふ



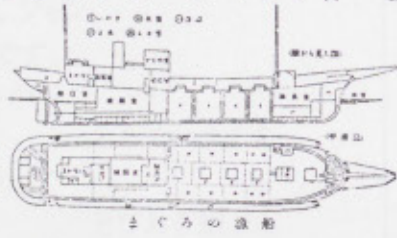
べんなことをどうやって解決したらいいのかなどが、具体的に示されていました。

まず、そして、わたしたちを導いて行進し、大行進にうつります。

マゴロは日本人には親しみの深い魚ですが、沖に出てとるようになったのは明治以後です。それも明治の中ごろまでは、小さな船で、しかも帆をかけて漁に出たので、せいぜい岸から二、三十海里、一航路、二三隻ばかりで漁をしていました。しかも冬の海が寒い時に漁をするので、船酔いする船が多かつたので、それが明治のおわりごろ、汽船のある漁船がふえてから、もつと沖に出ていくようになり、漁船の数もふえました。さらに航海や漁の技術が進歩し、船も改良され、汽船が使われるようになり、また船内に冷蔵の設備ができたので、無難に利用されるようになった。これは、よい漁場に出るようになったので、東は太平洋上、西は北太平洋、南は赤道以南まで出ていくようになったのです。東は太平洋上、西は北太平洋、南は赤道以南まで出ていくようになったのです。東は太平洋上、西は北太平洋、南は赤道以南まで出ていくようになったのです。

次のようなことを考えてみたり、してみたいであらう。

1. 現代の漁業はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
2. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
3. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
4. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
5. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
6. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。
7. 漁業の歴史はどんなふうになつて来たか、考へてみる。



小学校6年生用社会科教科書→
「気候と生活」

この教科書では、世界の様々な地域の気候の特色などを学ぶようになっていました。



竹や草の葉をつくつかないでも、日射をさそふことのできるようになっています。なかには、自分の家の日よけや、雨よけにするばかりでなく、道を通る人にも便利なように、道はばいばいのきを出したところや、家とは関係なく、道路の上で、わたりあうかのように、屋根をつくつておいたりもあつた。また、台北などの大都會の、道はばの狭い場所では、家々のきをつないでしまつて、歩道の上に屋根をかけたようにしています。これは、新加坡の高田地方の「がん木」に似ていますが、しかし「がん木」とらがつて、さいしよは、日射をよせよせよとから差通したもので、通行のために利用するのは、あつたから出でたもので。

わが國の、わが國にも、昔は、地面を高く掘つて、まわりに柱をたてた家がありましたが、石器時代のすまいのあとには、みなそれです。そして、鎌倉時代のころでも、いなかでは、そのようなすまいに住んでいた者があつたようです。しかし、人の生活が低地に移るようになれば、土のゆかの家は決して住みよくなりません。こと、しつぱの多いわが國では、こんなところに住んでいたら、じめじめするばかりか、夏はむしあふで、

高度経済成長と那加二小

西暦	元号	本校の主な出来事	世の中の主な出来事
1958	昭和33		・ヨーロッパ経済共同体が発足する
1959	34	・プールが完成する。兵藤秀子先生試泳 ・伊勢湾台風で校舎などが被害を受ける	・伊勢湾台風で東海地方が大被害 ・各務原市が誕生する
1963	38	・各務原市立那加第二小学校に校名変更	・東京オリンピック開催される
1964	39	・観察園が完成する	・岐阜で国民体育大会が開かれる
1965	40	・統計教育の研究指定校として発表会開催	・中国で文化大革命がおこる
1966	41	・社会科の統計教育の研究発表を行う	・アメリカのアポロ11号が月面着陸
1969	44	・ひばり山が完成する	・大阪で万国博覧会が開催される
1970	45	・鉄筋校舎（現在の北舎の一部）が完成	

戦争を経験して、新しい日本をみんなが作り始めてから、日本は世界の中でも重要な立場の国になり始めていました。1959年（昭和33年）ごろから、日本は工業がさかんになり、各地に工業地帯ができました。その結果、大きな町に人がたくさん集まり、便利のわるいところから人がいなくなるという過疎化ということも問題になり始めました。



FUJICOLOR 7 72

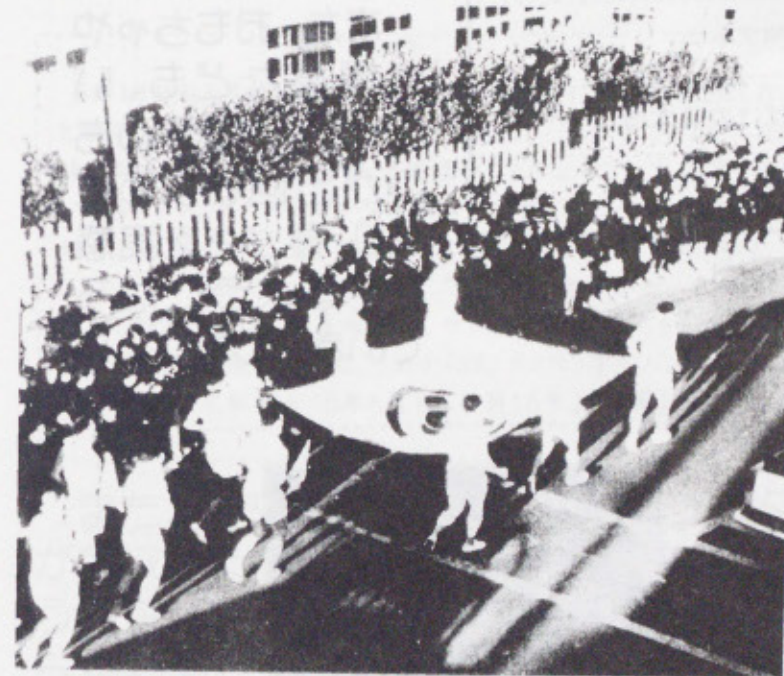
このころの那加第二小学校は、学校の設備をどんどんよくなっていきます。1959年にはプールが完成します。この完成の式典には、ベルリンオリンピックの金メダリスト兵藤秀子さんに模範水泳をしていただいています。兵藤さんは、「とても泳ぎやすいプールですね。とってもいい記録が出そうですよ。」とお話して下さったそう

です。しかし、同じ年の9月、大きな台風が東海地方を襲いました。伊勢湾台風です。ちょうど名古屋港の満潮時刻と台風の上陸が重なり、名古屋市では、大きな被害がでました。岐阜県でも洪水などがおきて、たくさんの方々が被害を受けたのです。那加第二小学校では、プラタナスの木がたくさん倒れたり、木造校舎が壊れたりしました。



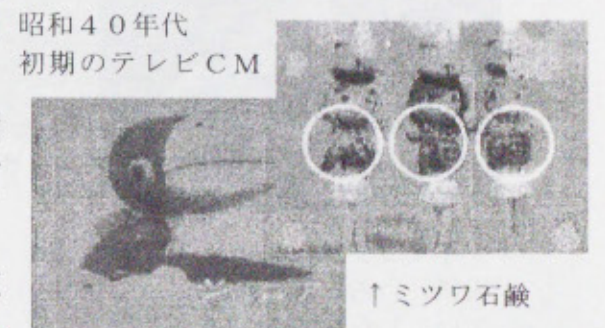
1963年、那加町・蘇原町・鵜沼町・稲羽町の4つの町が1つになって各務原市が誕生しました。それにとまって、本校も、各務原市立那加第二小学校に名前がかわったのです。

1964年、アジアではじめてのオリンピックが東京で開催されました。それにあわせて、東海道新幹線が開通し、岐阜県にも岐阜羽島駅ができました。まず



まず日本の国は豊かになっていきました。その一方で、工場でものをたくさん作るばかりに目がいきすぎて、工場の煙突から出る煙や、工場が出す汚れた水などで、川の魚が死んだり、海が汚れたりして、たくさんの人々が病気になってしまったという公害という現象も生まれてきました。

1965年、岐阜県ではじめて国民体育大会が開かれました。隣の那加中学校のグラウンドでは、ラグビーの大



↑グリコおしゃべり九官鳥（景品）

会が行われました。本校の子どもたちも、全国の優秀な選手たちの活躍を那加中まで見に行きました。

豊かになってきた子どもたちの生活

どの家庭にもテレビが普及し、子どもたちの生活も変化してきました。本校の文集「つくし」の昭和41年のものにもおもしろい情報がありました。

アンケート どんなテレビ番組を見ていますか

	男子	女子
1位	鉄腕アトム	ひょっこりひょうたん島
2位	鉄人28号	シャボン玉ホリデー
3位	おぼけのQ太郎	鉄腕アトム
4位	ひょっこりひょうたん島	おぼけのQ太郎
5位	シャボン玉ホリデー	ポパイ

文集「つくし」(昭和41年度高学年)より引用

した。

これをみると、子どもたちの生活にテレビが大きな位置をしめていたことがわかります。

また、おもちゃや文房具なども、いろいろな種類のものが出回るようになり、豊かさを実感できるようになっていきました。

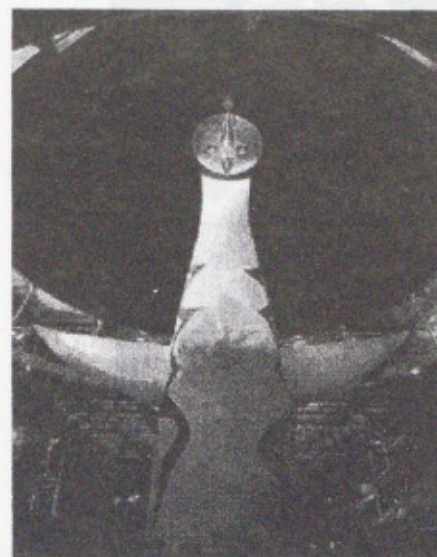


↑少年マガジン(1960/12/18)の表紙。いろいろな懸賞もついていました。



↑人気アニメーション「鉄人28号」レコードの表紙。ソノシートと呼ばれ、1枚250円だった。

当時の子ども文化



↑お祭り広場の太陽の塔

それをさらに実感できる出来事は、昭和45年大阪で万国博覧会が開かれたことです。本校では、6年生の子どもたちが見学に行きました。そのときの様子について、6年生の子どもが次のように作文にしています。



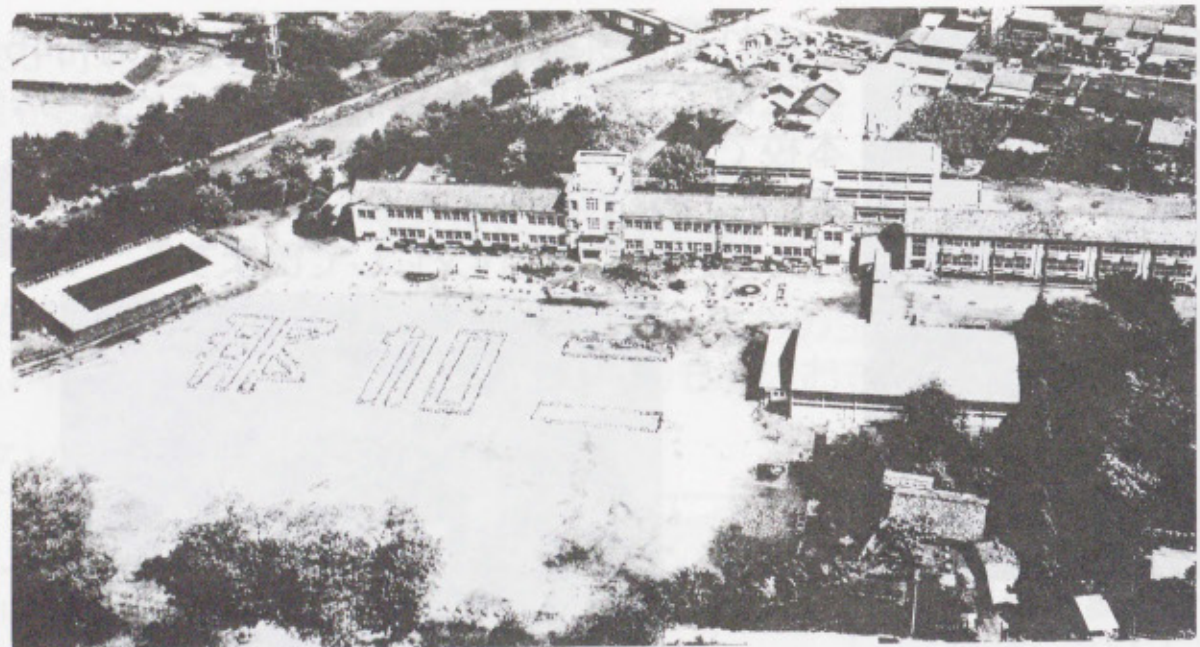
三菱未来館→

5月18日私たちは、待ちに待った万国博覧会に見学に行きました。朝、6時に集合。前日の雨もあがり、空は青々と澄み切って気持ちのいい天気になりました。バスの中では、バスガイドさんと歌を歌ったり、ゲームをしたりして、名神高速道路を走りました。こんな高速道路ができたなんてすごいと思いました。会場に着くと各国の民族衣装をつけたきれいなホステスさんたちが歩いていました。人気のあるパビリオンになると1時間~2時間待たなければなりません。私は待たなくてもいいパビリオンを24館ほど見ました。インド館では、美しいサリーやインドの宇宙開発などの様子がよくわかりました。ガーナ館では、動物の館、人間の館、自然の館、進歩の館の4つに分かれており、展示が美しかったです。友達と話していたら、三菱未来館、サンヨー館もおもしろかったそうです。中略 私たちは大勢の外国の人に会い、たくさんのお話を聞きました。これからは、クラス、学校だけでなく日本、世界のことも考えられる人になりたいと思います。(那加二広報昭和45年6月1日号第16号より引用)

また、学校の遊具では、今でもプラタナス公園にある「ひばり山」が完成しました。その頃の各務原市の小学校の中には、ひばり山のような遊具を持っている学校は少なく、多くの学校の子供たちからうらやましがられたそうです。

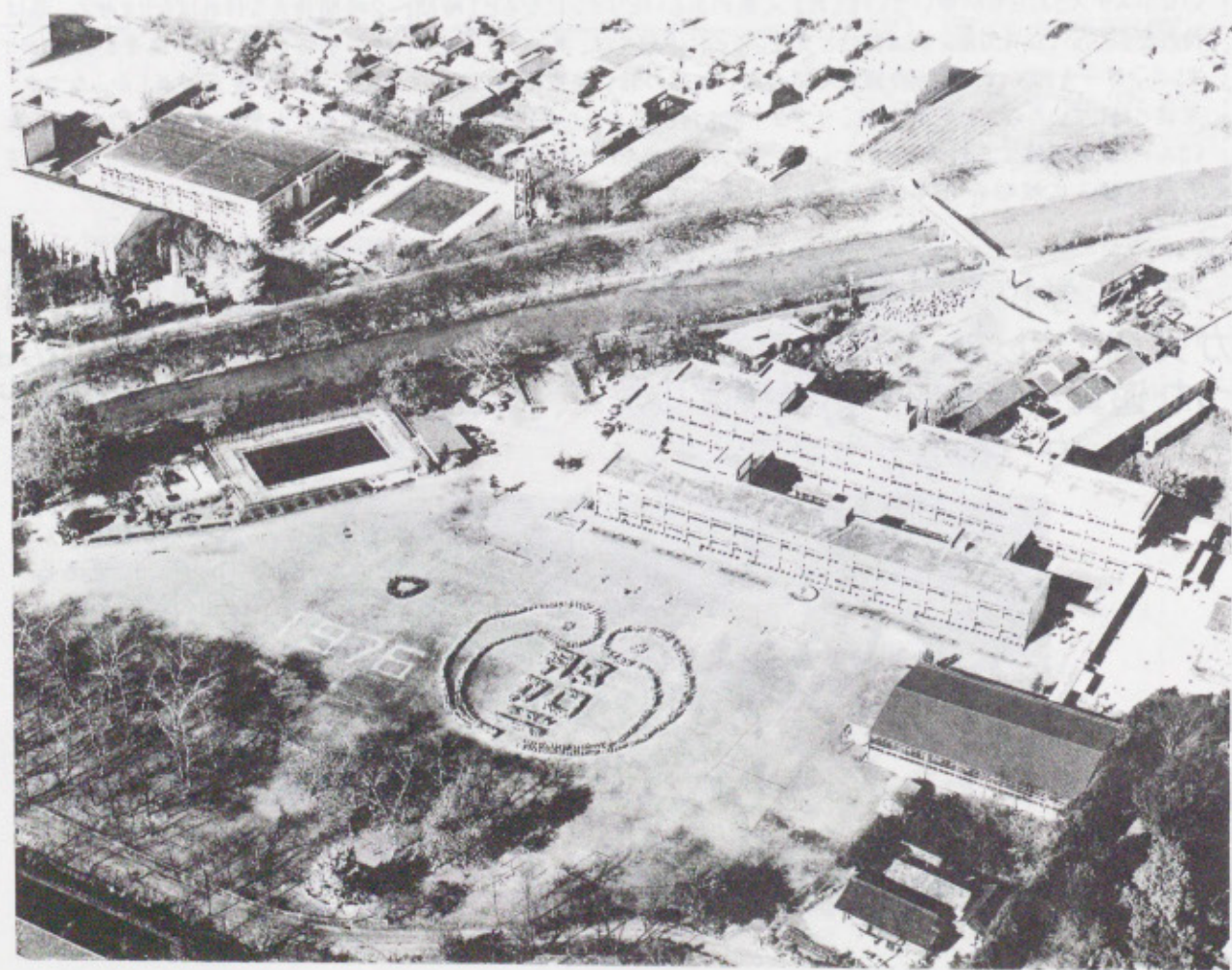


←運動会の時の写真です。遠くに見えるのが新しくできたひばり山(昭和44年)



↑ 1970年（昭和45年）の本校校舎

↓ 1976年（昭和51年）の本校校舎



モーレツからゆとりへ

西暦	元号	本校の主な出来事	世の中の主な出来事
1971	46	・校舎新築工事第2期終了	
1972	47	・校舎新築工事第3期終了 ・ことばの教室が開設される	・沖縄が日本に返還される
1973	48	・本校で岐阜県学校保健大会開く	・石油ショックが起こる
1974	49	・集中豪雨で校舎が床上浸水する	・三菱重工ビル爆破事件起こる
1976	51	・岐阜県教委指定研究実験学校に指定	・ベトナムが南北統一
1977	52		・各務原市中央公民館が完成する
1978	53		・日中平和友好条約に調印する
1979	54	・学童保育室「なかよし教室」開く ・交通少年団が岐阜県大会優勝	・東京サミット開かれる
1980	55	・岐阜県優秀校（岐阜日日新聞）受賞	・イラン・イラク戦争が起こる
1981	56	・図書館利用指導部門優秀賞受賞	・米スペースシャトル打ち上げ成功
1982	57	・プール改築完成	・東北上越新幹線が開通
1983	58	・韓国の小学校の教員が学校訪問	・青函トンネル開通・NHKおしん放送
1984	59	・視聴覚室完成	・グリコ森永事件起こる
1985	60	・本校敷地内に養護学校開校	・つくば科学万博開催
1986	61	・東門周辺が整備される	・三原山大噴火
1987	62	・文部省研究指定の研究始まる（国語）	・国鉄分割民営化JRになる
1988	63	・文部省研究指定発表会（国語）	・岐阜中部未来博覧会開かれる
1989	64	・国語教育に対して博報賞受賞	・瀬戸大橋開通 ・昭和天皇ご逝去 ・ベルリンの壁崩壊

昭和46年(1971)からの約10年間は、本校にとっては、設備がもっとも充実した時期でした。現在の校舎はこの時期にすべて完成をしました。そして、児童の数が大幅に増えていったのもこの時期です。

次のページのグラフをみても、昭和46年ごろの児童の多かったことに気づくでしょう。1974年、秋の集中豪雨の影響で、境川の水位が上がり、川の水が学校に流れ込み、1階の教室すべてが水につかるということがありました。先生も子どもも一生懸命になって教室の後かたづけや掃除を行ったそうです。



電気が消えた！(オイルショック)

西アジアにある中東諸国で、大きな戦争が始まりました。1974年のことです。日本はこの地域から輸入する石油のほとんどを頼っていたので、石油が戦争のおかげで手に入らなくなりそうになりました。豊かさに慣れてきた日本の人々は大変困りました。

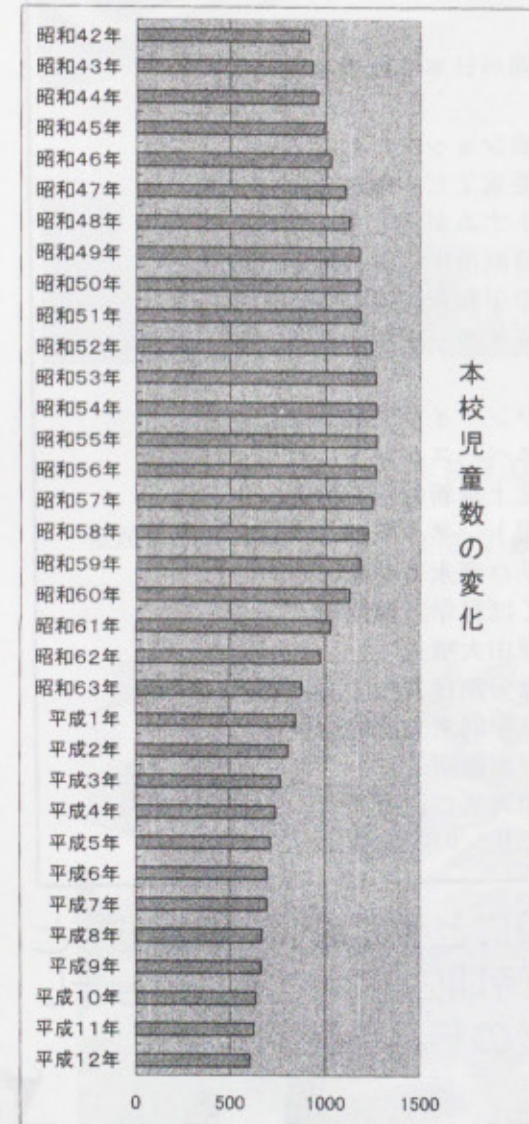
たとえば、トイレトーパーなどがお店からなくなってしまうという事件までおきました。

もちろん石油のねだんは2倍以上になりました。これを余りひどい物価のあがりかたなので人々は「狂乱物価」とよびました。

学校では、電気の節約がそれぞれの学級などでおこなわれました。また、テレビ局は、夜11時以降の番組を中止し、町のあかりはみんなが消すように協力しました。

一方で、子どもたちの遊びは、今までのような空き地で遊ぶものとは少し変わってきました。

女の子は、リカちゃん人形遊びを、男の子は、電子ブロック(部品を組み立ててラジオなどのいろいろなものをつくるおもちゃ)が大流行しました。世界のスーパーカーも男の子たちの人気に



なり、たくさんのミニカーが売られました。また、トランシーバーを持つ子供もいて、子どものおもちゃはとてもすてきなものが出回りました。

給食で米飯が出る

今になっては当たり前のことですが、このころまでは、給食でご飯の出ることはありませんでした。いつもパンでした。しかし、日本の国内で米作りを一生懸命してきた事でたくさんとれるようになりま

した。しかも、日本人が家庭でもアメリカ風の食事が少しずつ入るようになってきて、お米を食べる量も減ってきました。そんなことから、全国でお米が余るようになってきたのです。

そこで、政府は給食でお米を食べてもらうようにしたのです。現在では、1週間に2度ありますが、このころは1週間に1度でした。

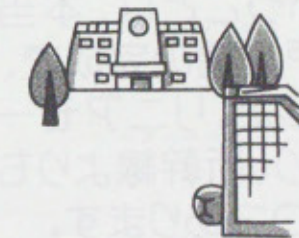
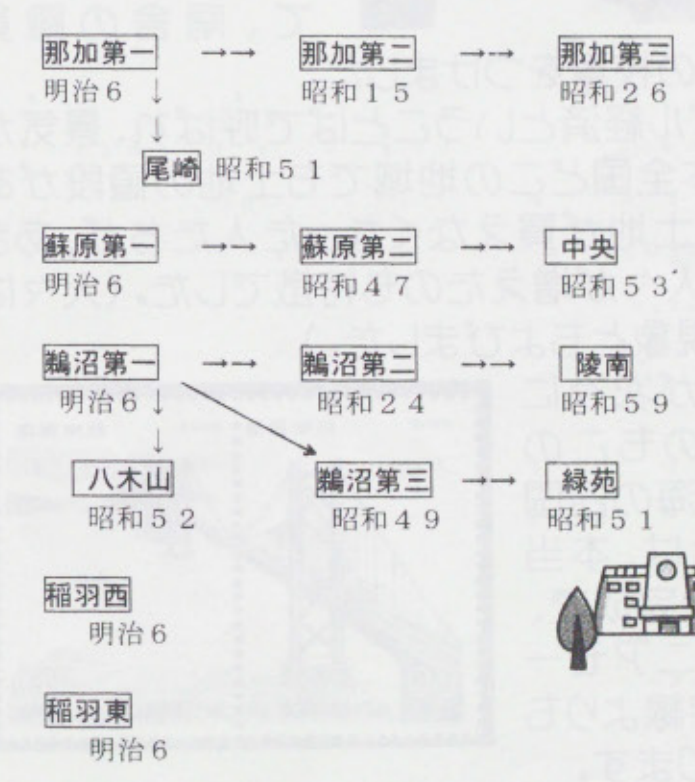
子どもたちは大喜びだったそうです。

人口が急増の各務原

昭和47年(1972)には、鵜沼に鵜沼台、新鵜沼台団地が造成され、昭和49年(1974)には、尾崎団地が造成されました。その後も次々と市内の各地に住宅団地ができるようになりまし。各務原市は、昭和51年(1976)に岐阜市、大垣市に次いで県内3番目に人口の多い市になりました。しかも、10万人を突破しました。

これと並んで、市内では、東海中央病院が今のところに移転し、新しい大きな病院になりました。また、中央公民館・市民会館・各務原警察署も相次いでできました。

市内の小学校の移り変わり



本校は昭和55年(1980)に岐阜日日新聞社(現在の岐阜新聞社)から岐阜県優秀校を受賞しました。

また、翌年には、図書館利用部門で優秀賞をとりました。

現在の体育館は、昭和56年に完成していま

す。
学校の勉強では、学習指導要領が昭和53年に改訂され、今までの学習の中にゆとりを入れるように考えられました。学校では、各学年で畑をつくり、サツマイモを作ったり、花を栽培したりしました。

国語の那加二小として

昭和62年(1987)本校は、今まで行ってきた国語の研究をさらに発展させておこなうようにと、文部省から研究開発校として指定をうけました。そして、昭和63年(1988)発表会をおこなって、子どもたちの



の国語の力を多くの先生方に見ていただきました。そのことが、大変すばらしかったので、平成元年(1989)に博報賞を受賞しました。このときに賞をいただいた記念として、南舎の職員

玄関の外壁に那加第二小学校の校章をつけました。

この時期は、世の中は、バブル経済ということばで呼ばれ、景気が大変良かった時期でした。日本全国どこの地域でも土地の値段が上がりました。一方で、高すぎて土地が買えなくなった人たちが、あきらめ気分で高級車などをかう人々が増えたのも特徴でした。(人々は自動車の名前をとってシーマ現象ともよびました。)

また、今まで夢だったことが次々に現実のものになっていったのもこの時期でした。たとえば、瀬戸内海の四国と本州を橋で結ぶということは、本当に夢の話でしたが、瀬戸大橋の完成で、実現してしてしまいました。リニアモーターカーの実験も始まり、新幹線よりも速い鉄道が現実になりつつあります。

昭和64年(1989)1月、昭和天皇がご逝去されました。そして、時代は平成になりました。

第 2 部

発展と充実 新しい未来に向かって

創立51年目から60年目まで

創立から50年～60年目までの歩み

1990年(平成2年)～2000年(平成12年)

西暦	元号	本校の主な出来事	世の中の主な出来事
1990	平成2	<ul style="list-style-type: none"> ・台風19号のためにプラタナスの大木が5本倒れる(9月) ・夢おこし音楽会「ひびけ那加二っ子の歌声」集会を市民会館で開く(ゲスト:田中星児さん)(12月) ・夢おこし表現の会「高鳴れ那加二っ子」(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇陛下即位 ・日本人としてはじめて毛利衛さんがスペースシャトルに乗り込む ・バブル経済崩壊に向かう ・東西ドイツが統一する(10月)
1991	3	<ul style="list-style-type: none"> ・夢おこし「わいわいカーニバル」7月 ・田口文庫の寄贈を受ける 9月 ・調べ学習室開設 10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・湾岸戦争(1月) ・雲仙普賢岳で火砕流(5月) ・ソ連崩壊(6月) ・ロシア共和国連邦成立
1992	4	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌碑完成 3月 ・学校週5日制開始(第2土曜日のみ) ・国語教育公開研究会開催 11月 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐川急便事件 ・バルセロナオリンピック開催(7月)
1993	5	<ul style="list-style-type: none"> ・観察水槽完成 3月 ・教育キャッチアップ開始 4月 ・福祉キャラバン来校 5月 	<ul style="list-style-type: none"> ・Jリーグ開幕 ・細川連立内閣成立(8月)
1994	6	<ul style="list-style-type: none"> ・台風26号来襲でプラタナスが10本倒れる 9月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤクルト16年ぶり優勝 ・中華航空名古屋で着陸失敗 ・水不足深刻化
1995	7	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災発生 1月 ・避難のため児童3名転入 ・特殊学級(情緒)が設置される 4月 ・教育キャッチアップ研究発表会 10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神大震災 1月17日未明に発生 死者6308人の大惨事に。 ・地下鉄サリン事件おこる(3月) ・野茂投手、大リーグで新人王
1996	8	<ul style="list-style-type: none"> ・全国小学校社会科研究協議会岐阜大会の平成11年開催校に決定 4月 ・学校だより「雲雀っ子」発刊 ・病原性大腸菌 O-157 が話題になり、給食室に大型冷蔵庫設置 7月 ・環境学習の一貫でトレイの回収を行う 9月 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊浜トンネルで岩盤が崩落 ・列島襲ったO-157、死者は11人 ・小選挙区で初の総選挙 ・ペルー日本大使公邸人質事件 ・アトランタ・オリンピック開催
1997	9	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊学級(情緒)閉級 9月 ・日本海重油流失事故で敦賀市に援助物資を送る 2月 ・特殊学級(知的障害)開設 4月 ・子ども連れ去り事件などが全国的に多発し、地域に子ども110番を設置 7月 ・地域防災訓練が実施される 8月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアのタンカー、日本海で重油流出事故 ・神戸で小学生殺傷事件 ・サッカーのワールドカップ・アジア地区予選で、日本が初出場決定

1998	10	・PTA成人親の集いで試行的に「学校開放デー」をおこなう	12月	・長野オリンピック開催、日本「金」5個 ・和歌山カレー毒物混入4人死亡、 ・横浜がプロ野球日本一
		・中国京劇団来校	12月	
		・英語に親しむ学習で外国人講師来校 (ロバートさん来校)	2月	
		(アリーサさん来校)	3月	
1999	11	・教育トライアングル事業 学校開放デー実施(12月にも)	6月	・東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故 ・初の脳死判定による心臓・肝臓移植 ・全日空機乗っ取り、機長刺され死亡 ・中日ドラゴンズセ・リーグ優勝
		・KETが来校(これより毎月来校) (ジェームズさん)	9月	
		・台風で東渡りの屋根が崩壊	10月	
		・県小社研 岐阜県大会開く	11月	
2000	12	・テレビ会議システムの授業導入	6月	・コンピュータ2000年(Y2K)問題 ・南北朝鮮首脳が初の会談 ・日比谷線が脱線、5人死亡 ・有珠山が噴火 ・西鉄バス乗っ取り、1人死亡
		・教室開放事業を実施	6月	
		・子育て支援事業開始	7月	
		・パソコン活用の授業を試行	7月	
		・全小社研岐阜大会(全国大会) 全国から約500名来校	11月	
		・英語実験校に	2月	
		・マルチメディア推進事業指定校	4月	
		・新学習指導要領移行措置実施開始 (総合的な学習の時間の試行開始)		
		・スクールコンサート開催		



夢おこし事業

～夢おこし音楽会～

平成2年度

夢おこし音楽会開く

各務原市教育委員会は、それぞれの学校が独自に、学校の特色を生かして子どもの夢を育てていくようにと、「夢おこし事業」をおしすすめました。

本校では、これをうけて、それまで歌を大切にしてきたことをふまえながら、有名な歌手をお招きして音楽会を開くことを考えました。

12月、各務原市民会館大ホールで歌手の田中星児さんをお迎えして、夢おこし音楽会をおこないました。

(田中さんは、NHKテレビの「おかあさんといっしょ」の歌のお兄さんやご自身も歌手として多くの大ヒット曲をもっていらっしゃる方で、現在も全国各地でコンサートを開いていらっしゃいます)



世の中では、日本人として初めて

毛利衛さんが、アメリカのスペースシャトルに乗り込み宇宙へ出発をしました。

また、東京放送の宇宙特派員、秋山豊寛さんが日本人初の飛行士としてソ連の宇宙船ソユーズTM11号で宇宙に飛び立ちました。

このような夢のような話が本当に実現し、日本も将来は宇宙へいくこともそれぞれのがんばりで実現しそうです。



←この年から
はがき1枚41円、
封書1枚62円、
となりました。

夢おこし表現の会

2月には、夢おこし表現の会「高鳴れ那加二っ子」を体育館でおこないました。

これは、音楽だけでなく国語や社会科などの学習をしてきたことをみんなの前で発表する会で、低学年・中学年・高学年と3日間に分けて保護者の方々に見ていただきました。

6年生は、秋に出場した市の音楽会での発表曲に、中学校へ進学する自分の気持ちをこめながら、それぞれの友達の希望をみんなの前で発表していきました。どの学年の発表にも、保護者の皆さんから大きな拍手が送られ、「感動しました」という感想もたくさん聞くことができました。

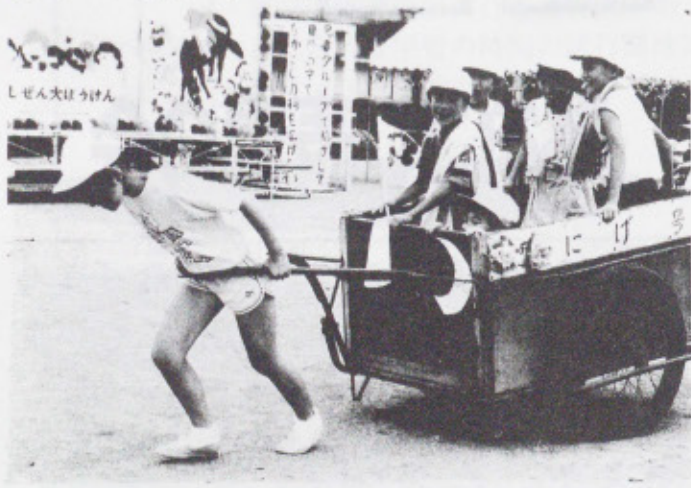
夢おこし事業

わいわいカーニバル開催

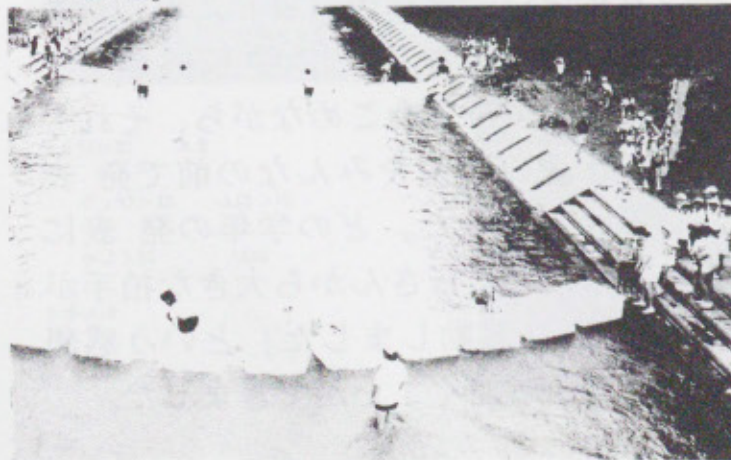
～平成3年度～

前年度の夢おこし事業の継続で、平成3年度には、「わいわいカーニバル」がおこなわれました。

この行事は、学校のグラウンドや境川・プールなどを使って冒険をしてみようというイベントでした。たとえば、プールでは、いかだに乗りプールを横断したり、境川では、吊り橋をつくってそこを渡ったり、運動場では、ミニ動物園を開いたり、楽しい企画がいっぱいでした。



低学年のお友達が初めてロバに乗って、「ドキドキしたけど、気持ちよかった」と話していたことが大変印象的でした。



図書館の充実を図って

この年、西濃運輸の田口福寿会から100万円相当の図書の寄付がありました。これをきっかけにして、本校では、図書館の隣の教室を、社会科や理科などで自分で調べることができるように「調べ学習室」をつくりました。調べ学習室には、図書館から、百科事典や辞書、図鑑など授業で学習したことをさらに詳しく調べる時に使うことができる本を中心に移動させました。

また、PTAの方々が自由に利用できるようにPTA用の図書もおきました。

現在では、調べ学習室には、同じように調べるための本の他に、PTAの資源回収の資金をもとに購入したパソコンや地域の方々から寄付していただいた中古パソコンをおいて、パソコンも活用して自由に調べ学習ができるようになっていきます。

雲仙普賢岳噴火

この年、九州にある雲仙普賢岳が噴火をおこし、多くの方々が避難をしなければならなくなりました。

本校では、普賢岳の近くの小学校のお友達が一刻も早く普通の勉強ができることを願いながら、募金活動をおこない、各務原市の社会福祉協議会をとおして、寄付をしました。

第2土曜日が休業日に

～平成4年度～

平成4年度は、学校にとって大変大きく変化したことがあった年でした。毎月第2土曜日が9月から休業日になったのです。

PTAでは、初めてのことなので、それぞれのお家が土曜日をどのように過ごしたのかをアンケートをとりました。また、日本中では、いろいろなイベントを行ったり、博物館や科学館などでは、家族でいっしょに勉強に来てもらうようにPRもしました。現在のように第2・第4土曜日が休業日になるのは、そのあと1年後のことです。

バルセロナ五輪開催



この年、スペインのバルセロナでオリンピックが開かれました。日本の選手の活躍だけでなく、世界のすばらしい選手たちの活躍に、6年生たちは、国語の学習と社会科の学習をもとにして「オリンピック新聞」を作りました。

毎日のようにテレビやラジオで放送される選手のがんばりに、多くの人は感動をしてみてください。

生活科での活動範囲が広がる

小学校で、生活科が始まったのは平成3年のことです。先生方の工夫と努力によって、生活科の学習も少しずつ充実していきます。

本校では、近くに市民公園があることを利用して、市民公園を使って学習をしていく生活科の授業をおこなうようになりました。



生活科は、子どもが自分自身とのかかわりの中で、自然や社会の様子を学んでいく学習です。ですから、いろいろなものと触れあえることは大切なことです。

生活科のことについて、保護者の方々の疑問にも学校側はPTAの広報などをつかって丁寧に説明し、理解を求めていきました。

また、現在も続いている「みんなで遊ぼう集会」はこの年から始まった児童会が主催する行事です。

Jリーグ開幕 ～平成5年度～

Jリーグ開幕ブーム

この年、日本で初めてサッカーのプロのチームがサッカーのゲームをおこなうJリーグが開幕しました。

日本中、大変な人気でした。サッカーのプロのチームの特徴はそれぞれの地域に根ざして、地域の人々から応援を受けて作られていることでした。Jリーグのテーマ曲である「オーレチャンプ」は、多くの幼稚園・保育園・小学校の運動会で使われました。

本校では、4年生が「オーレ那加二」という題目で、ドッジボールを使った演技をしました。



福祉キャラバン隊来校

平成3年から、本校は福祉協力校として、様々な福祉にかかわることを学校の中でおこなってきました。それをふまえながら、さらに福祉への

理解を深めてもらおうと、「福祉キャラバン隊」が市の社会福祉協議会からやってきました。

この中で、教えていただいたのは、「世の中には、体に障害をもっている方がたくさんいらっしゃる。その方々のお手伝いをすることが大切であること」でした。そして、盲導犬を実際に見せていただけました。

次に地球に優しい環境づくりということで、リサイクルに関することも教えていただきました。



今では当たり前となったリサイクルですが、このころは、ゴミとして捨ててしまうのが普通でした。

地球の資源は、無限にあるわけではなく、何度も再利用していくことが大切なことをみんなで学ぶことができました。

ひまわり学級できる

平成3年頃から、本校にブラジルの子どもたちがお父さんのお仕事の都合で転入してくるようになり、この年には7名になりました。

そこで、本校ではその子どもたちに日本語などを教えるための「ひまわり教室」を各務原市教育委員会と相談してつくりました。

記録的な猛暑の夏と 村山政権誕生

～平成6年度～

平成6年度は、日本の政治では初めて自民党ではない政権が誕生した年でした。一方で、夏は記録的な猛暑。連日36度以上を記録し、各地で水不足が心配され、場所によってはプ



←この年関西新国際空港が大阪湾に人工の島として完成しました。

ールも中止になることもありました。

祖父母参観の音楽会

本校では、例年の祖父母参観と音楽会を合わせて実施しました。このころには、本校の音楽会は夢おこし事業で始まって以来、伝統的なものになっていました。それぞれの学年が工夫をし、低学年・中学年・高学年の3日間とも、保護者と祖父母の皆さんで満員になりました。

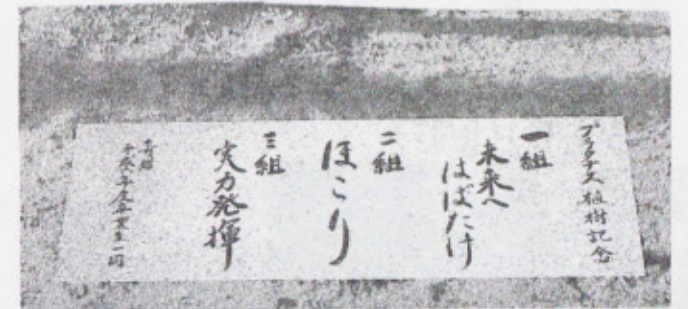


台風26号とプラタナス

9月になると、それまでの水不足が一転して、たくさんの台風が日本列島を直撃するようになりました。

特に被害がすごかったのは、台風26号でした。この台風の特徴は大雨と暴風でした。この暴風のおかげで、本校のプラタナス公園のプラタナスが全部で10本なぎ倒されてしまいました。

この年の6年生は、このことをとても残念に思い、卒業記念品で、プラタナスの植樹をしました。(植樹記念の石碑が今でもプラタナス公園にあります)



平和の折り鶴

各務原市が6月22日を平和の日と定めてから、市内の各学校は折り鶴を折って平和を考えるようになりました。本校でも、その取り組みが現在でも続いています。

**阪神淡路大震災の影響と
地下鉄サリン事件騒動**

～平成7年度～

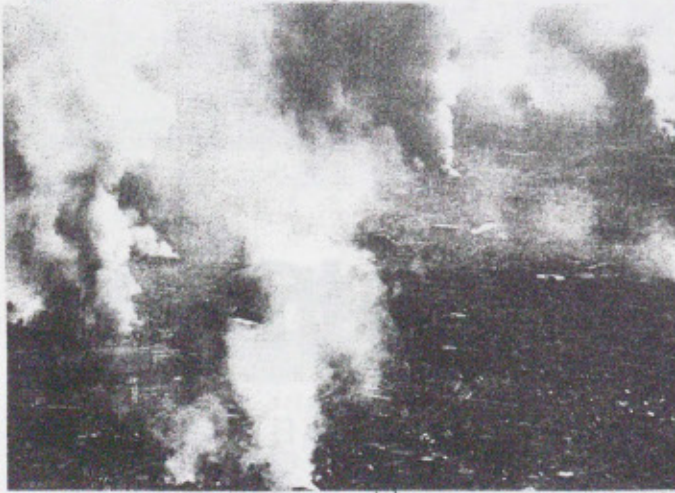
大震災被災地に援助物資送る

世の中は、平成6年度から7年度になつてからも大変な事件の影響が多く残っていました。

阪神淡路大震災による神戸市やその周辺の方々の受けた被害は大変なものでした。各務原市からも、被災地の人々の援助をするために多くの人たちが駆けつけていきました。

一方で、本校にも、7月に3名のお友達が震災を受けた地域から転入してきました。

学校では、神戸淡路地区のお友達などが早く普通の生活ができるようになることを願って、募金活動をおこなったり、身近な生活用品を集めて神戸に送ったりしました。



また、いざという時のために、学校での避難訓練は、地震がおきた場合の訓練をいつもの年よりも1回多くおこない、自分たちの命を守るための訓練

を繰り返しておこなった年でした。

教育キャッチアップ発表会

本校では、国語の勉強の仕方について、長い間研究をしてきました。それをさらに伸ばそうと、各務原市教育委員会の教育キャッチアップ事業をもとにして、市内を中心とした先生方を集めて研究発表会をおこないました。

この中で、本校のお友達の発言の仕方が「長くお話ができています」という多くの先生方の感想をいただきました。



←この年から、はがきが1枚50円に、封書が1枚80円になりました。

この年に、本校ではじめて「たんぽぽ学級」ができました。

また、生活科の学習のための生活科室、児童会の活動をおこなう児童会室も整備され、いろいろな活動がおこないやすくなっていきました。

**0-157を防ぐために
～平成8年度～**

この年から、みなさんに毎月学校から「雲雀っ子」という学校だよりを発行するようになりました。

雲雀っ子は、学校で子どもががんばったことや行事の連絡、子どもの表彰のなどを家庭にお知らせしているものです。

0-157が問題に！

この年は、全国のいたるところで、「病原性大腸菌0-157」と呼ばれる病原菌によって、命を奪われる方々が出ました。

そのために、学校では、市教育委員会の指導を受けながら、手洗いの時に逆性石鹼を使ったり、清潔なハンカチを持ってくるように指導したりしました。

環境について考えさせられた「重油流出事故」

この年の冬のことでした。日本海を航行中のロシアの船が、折からの大風で、浅瀬に乗り上げ、船の壊れた部分から、たくさんの重油が流れ出すという事件が起きました。

このことは大変なことで、その海に生きている魚などの生き物がすべて死んでしまったり、そこでとれる海苔などもとれなくなってしまったりしてしまうということなのです。

被害は思ったよりもひどく、日本全国から、その重油をとるためにボランティアの方々が駆けつけ、必死に作業をしました。各務原市は、敦賀市と姉妹都市とって仲良しの都市なので、みんなで協力して手伝うことになりました。

本校でも、タオルなど重油をとるための道具をみなさんから寄付していただき、すべてを敦賀市に送りました。その後、敦賀市の市長さんからお礼の手紙が届きました。

同じように、この年はリサイクルを考えようと、学校でトレイを集めました。集めたトレイは、また、機械で新しい製品に生まれ変わることができず。そのまま捨ててしまうのではなく、限りある資源を大切にするための努力について考えるきっかけになりました。



本校では、約2ヶ月の間に約3万枚のトレイを集め、花の種とプランターを3個いただきました。

現在そのプランターで、ベゴニアがきれいにさいています。

地域に子ども110番設置

～平成9年度～

平成9年は、子どもへの犯罪が全国でたくさんおこった年でした。つれさられたり、誘拐されたりして、命をおとしてしまったお友達が全国に何人かいました。そこで、本校では警察に協力して、地域の約100軒のお店や家にお願ひして子どもがすぐに助けを求められるように「子ども110番」をつくりました。これは今でも、みなさんを守ってくれています。

地域防災訓練実施

8月の夏休みには、地域の方々といっしょになって、地域防災訓練をおこないました。これは、阪神淡路大震災のような大きな地震がおきた場合に、みなさんの命を守ったり、けがをした時にはすぐに治療ができるようにみんなで練習をして、もし災害が起きたときにすぐに動けるようにするものでした。



実際に、火事がおきて煙がでた時の体験や、地震のゆれの体験などもお

こなわれました。

中国京劇団来校

秋になると、中華人民共和国から、中国の伝統的な劇を那加二小のお友達にみてほしいと、劇団が来校しました。お話は、中国に古くから伝わる「孫悟空」のお話などでしたが、とてもすばらしい曲芸や、大きな音の出る打楽器などで、みんなはびっくりしました。



また、子役の松松君(8歳)の元氣いっぱいの演技に大きな拍手がおこりました。

このあと、この「中華人民共和国北京市風雷京劇団」は東京で公演活動をして、中国の北京市に帰っていきました。

11月、総合初等教育研究所から「手のひら文庫」の読書感想文コンクールで那加二の多くのお友達の内容がすばらしかったので、学校賞(佳作)をいただきました。

英語に親しむ時間を試行

学校開放デーを本格実施

～平成10年度～

この年から、学校では英語を楽しく勉強していく試みを始めました。各務原市の国際交流協会に勤めていらっしゃるイギリス人のロバートさんや、アメリカ人のアリーサさんが来校され、それぞれの学年にゲームやアメリカ・イギリスの様子について教えていただきました。



↑この年は、長野県で冬のオリンピック大会が開かれ、日本はスピードスケートやジャンプ競技などで金メダルを5個をとりました。

また、長野県は、世界中から長野へ競技に来る人々を1つの町が1つの国を応援するように取り組み、大成功をおさめました。

また、秋からは、各務原市が契約したアメリカのユタ州出身のトーマス先生、リサ先生などが、各教室にはいって勉強を教えていただくようになりました。現在、市内にはこのような先生がジェームズ先生を含

めて3名いらっしゃって市内の学校をまわって指導をしていてくださいます。

学校開放デー開く

各務原市教育委員会が、子どもを学校・地域・家庭で協力して育てていこうという願ひをもって、教育トライアングル事業をスタートさせました。

那加第二小では、学校を地域に開かれた場所にしていこうという願ひから、学校開放デーを始めました。これは、地域の方々などを講師にお招きし、学校では学べないことを学習する行事です。もちろん地域の方々にも参加していただき、みんなで勉強しましょうというものです。

第1回目は、参加者約800人、来賓は市長さんを始め70人、岐阜テレビなどマスコミもたくさん取材にかけつけました。

台風で施設が被害にあう!

9月に台風がいくつも日本列島に上陸しました。そのうちの1つはかなり大きな台風でした。この影響で、市内すべての学校が臨時休校になりました。台風は強い風を吹かせ、本校のプラタナス公園の木を3本倒し、北舎と南舎をつないでいた東通路の屋根を吹き飛ばしてしまいました。

この台風の影響で、市内の多くの家庭の屋根瓦が吹き飛んだり街路樹がなぎ倒されたりなど被害もでました。

小社研全国大会の会場校として ～平成11年度～

この年は、全国から私たちの社会科と生活科と障害児教育の授業のがんばりを見ていただいた年でした。

6年生は福祉の授業、5年生は自動車の授業、4年生は低地のくらしの授業、3年生は商店街の授業を見ていただきました。また低学年は生活科の授業、たんぼぼ学級は「電車でゴー」の授業をおこないました。石川県から来てくださった先生は、「パソコンを自由に使う姿にとってもびっくりした」とか「友達と一生懸命に話し合う姿がたくましかった」などと那加二のお友達のすばらしさをほめていただきました。

テレビ会議で授業

～新しい取り組みがスタート～

マルチメディアを使って、授業も変わってきました。たとえば、テレビ会議がそれです。テレビ会議は、遠くにいる人と直接いろいろな話し合いが、まるで目の前にいるようにできるものです。

4年生のお友達が、宮崎県の小学校や、同じ岐阜県内の海津郡の方などとテレビ会議をつかって授業をおこないました。

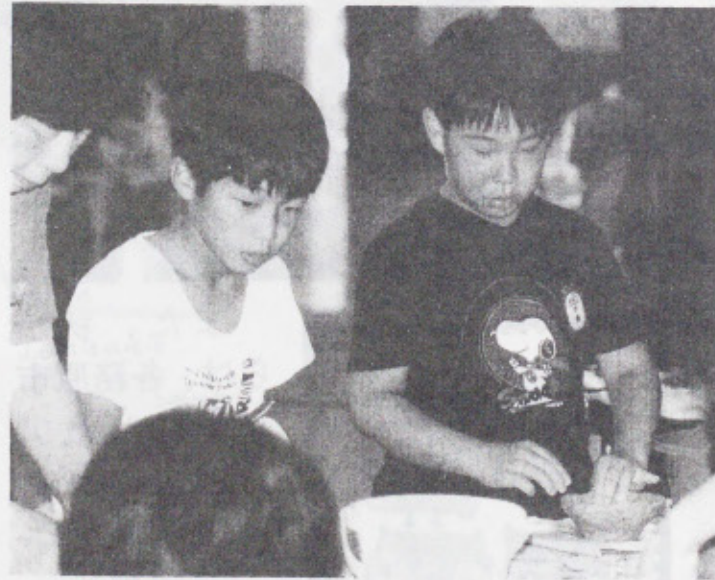
また、パソコンを使いこなして自分の考えをレポートにまとめることも、高学年を中心にできるようになりました。

花いっぱい運動で市長賞をとる

教頭先生を始め、栽培委員会のお友達などの毎日のがんばりのおかげでマリーゴールド、ベゴニア、日日草などたくさんのプランターで、学校中がまるで花壇のようになりました。その努力がむくわれ、9月には、市の主催する花いっぱい運動から、本校が表彰を受けて、各務原市長賞を受けました。

盛大になった学校開放デー

学校開放デーは、年2回おこなわれましたが、特にこの年はPTAの方々にも運営に加わっていただき、新し



い講座がたくさんおこなわれました。

たとえば、陶芸教室は、実際のプロの方から指導を受け、粘土をこねて、ろくろで形をつくり、実際に焼いて自分の独自のものをつくるといった内容でした。

また、和菓子を作ったり、洋菓子を作ったりする講座も用意されました。この様子は岐阜テレビでも放送されました。

21世紀に向かって

～平成12年度～

いよいよ21世紀は間近に迫りました。世の中は、IT革命と呼ばれるコンピューターなどの新しい技術がどんどんできあがってきています。

また、インターネットが多くの家庭にも普及して、パソコンはめずらしいものではなくなっています。

そんな中で、那加第二小学校は、各務原市の教育委員会からコンピューターを活用しながら英語の学習をしていくことをすすめるようにいわれました。



それぞれの学年の授業では、英語でゲームをしたり、単語を勉強したりするだけでなく、パソコンをつかった英語の勉強も5年生から始められています。

また、21世紀の学習を先取りする形で総合的な学習の時間もおこなわれるようになりました。

たとえば、4年生は「ケナフ」を育てながら、環境問題やリサイクルの

ことについて学習しています。5年生は、テレビ会議システムを使って、全国の友達と交流をするようになりまし。6年生は、特別養護老人ホームつづじ苑へボランティアに出かけるような学習もするようになりました。このような学習はいままでの学校では、考えられないことです。

この年、那加第二小学校は平成12年3月で、ちょうど学校ができて60年をすぎることになりました。各務原市のことで見てみると、平成12年は、全国の高校生の代表の選手たちが岐阜へ集まって、全国高等学校総合体育大会（高校総体）が開かれました。

各務原市では、バドミントンとホッケーの競技が行われました。各務原市航空宇宙博物館の隣に作られた「岐阜県グリーンスタジアム」ではホッケー競技がおこなわれ、岐阜県のチーム（男子：岐阜総合学園高校・女子：岐阜女子商業高校）が男女とも優勝をしました。

未来に向かって

21世紀は、間近に迫っています。時代はIT革命と言われるマルチメディアの時代に入っていきます。

これからも、新しいことにどんどんチャレンジしながら、思いやりの心を忘れず、夢をもって生きていきましょう。

1947年・1970年・1994年の3枚の地図を比較しながら、私たちの住んでいる校区の変化をみてみましょう。

1947年（昭和22年）

①雄飛ヶ丘には、戦争中に川崎重工で働く人々の住宅ができ、にぎやかになっていました。

②現在の市民公園前駅が、「こうのうまえ」とあります。

これは、このころ、現在の各務原市民公園の場所に、岐阜高等農林学校という学校があったからです。

この学校へは、岐阜県だけでなく、全国から農業の勉強にくる優秀な学生がたくさんいました。

③現在の各務原飛行場の駅の名前も「うんどうじょうまえ」になっています。

これは、現在の大東町に野球などができるグラウンドがあって、プロ野球の試合も行われていました。

④現在の那加中学校の場所には、川崎重工の部品工場がたてられていました。

戦争が終わってからは、工場での仕事はなくなり、空き家になっていました。

⑤現在の航空自衛隊の基地には、このころアメリカ軍（進駐軍）が入って、岐阜キャンプを作っていました。



昭和23年頃の航空写真



③大東町にあったグラウンド



⑤アメリカ軍のキャンプ正門

昭和34年(1959)～38年(1963)頃の
那加第二小学校の子どもたち

学校の給食風景



校舎の前で



1970年(昭和45年)

①16メートル道路が、長塚から蘇原まで完成しています。

②那加第三小学校が昭和25年に那加第二小学校から分離独立してこの場所にたてられました。その隣は、岐阜大学のグラウンドと岐阜大学の学生寮があります。

③那加第二小学校の南の駅は、岐阜大学前という名前になっています。

現在の市民公園の場所には、岐阜大学工学部・農学部があり、今の運動公園のところには、農学部付属の家畜病院がありました。

④各務原飛行場の駅前には東海中央病院がありました。その後、東海中央病院は、蘇原東島に移転します。

⑤那加第二小の西側には、那加中学校ができています。このころの那加中学校は、県内でも有数のマンモス学校でした。

那加中の北側や那加二小の北側には、住宅は少なく田畑が広がっていました。

特に那加第二小の北側の田畑は、岐阜大学農学部の実験農場になっていました。

⑥ここには、岐阜大学馬術部の馬場があり、学生が馬術の練習をしていました。

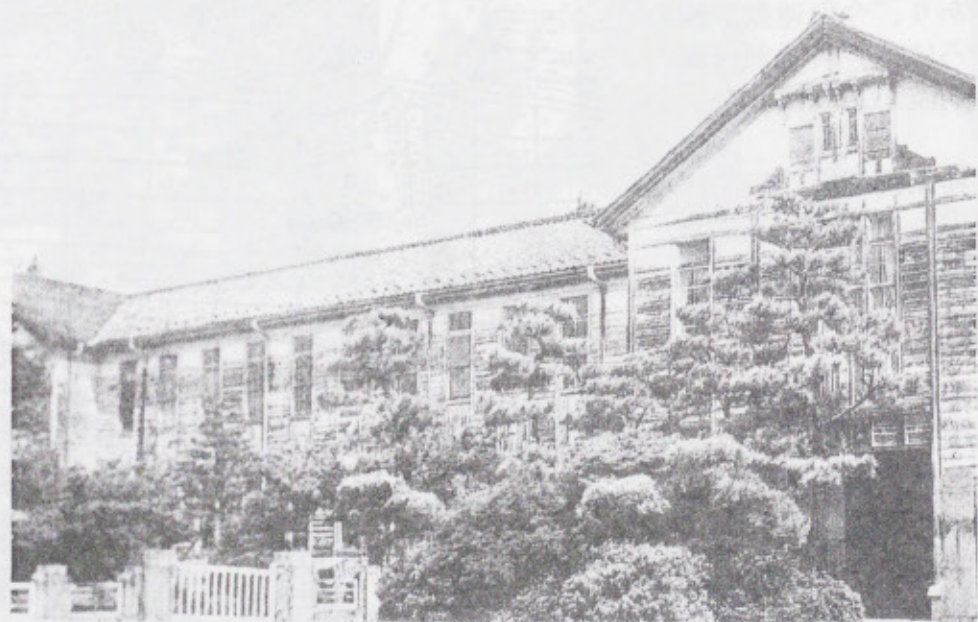
⑦市内の変化でみると、金属団地にたくさんの工場が建てられています。



昭和44年卒業生の6年生のころの休み時間の写真



③岐阜大学の校舎



昭和48年度的那加第二小の子どもたちの様子

全校朝会

このころは全校児童が多かったので
運動場でおこないました。



20分休みの様子



持久走大会



運動会での組み立て体操



1994年(平成6年)

①昭和45年の地図と比較すると、北側の山には尾崎団地ができあがっているのがわかります。また、東海北陸自動車道も通過しています。

②那加中学校の西側にあった岐阜大学グラウンドは、各務原西高等学校になりました。

③岐阜大学は、岐阜市に移転し、そのあとに市民公園ができ、図書館も完成しています。

④学校のまわりをみると、住宅がたくさんでき、にぎやかになっていることもわかります。

また、那加中学校から分離独立した、桜丘中学校ができ、那加第二小学校のとなりには各務原養護学校もできました。

⑤門前町・楠町・桜町など、校区にはたくさんの人々が住みますますにぎやかな町になっています。




⑥東海中央病院は、移転し、その後に、保健文化会館ができましたが、それを取り壊し、現在のような各務原市産業文化センターができました。


⑦国道21号線の交通量が増えたために、バイパスの建設がすすみ、ほぼ、完成しています。



資料：テレビCMの歴史

(お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんの子どもの頃のお話を聞いてみよう。どんな子供時代を送られたのでしょうか。)

1959	昭和34年	「姓はオロナイン、名は軟膏」(大塚製薬、オロナイン軟膏) [出演：大村崑] <「とんま天狗」の生CM>	
1960	昭和35年	「カステラ1番、電話は2番、3時のおやつは文明堂」(文明堂) <コマーシャルソングに合わせて可愛い動物たにが踊るとい人形アニメーション>	
1961	昭和36年	「伊東にいくならハトヤ」(ハトヤ・ホテル) 「トリスを飲んでHAWAIIへ行こう」 (寿屋=現・サントリー、アंकルトリス)	
1962	昭和37年	「オレがこんなに強いのも、あたり前田のクラッカー」(前田製菓、クラッカー) 一) [出演：藤田まこと] <「てなもんや三度笠」の生CM> 「スカッとさわやかコカ・コーラ」(日本コカ・コーラ、コカ・コーラ) <コカ・コーラはこの年からテレビCMを大量に投入>	
1963	昭和38年	「なんである、アイデアル」(丸定商店、アイデアル傘) [植木等] <軽妙で奇抜な演技で話題になった。5秒スポット> 「マーブル・マーブル・マーブル・チョコレート」(明治製菓、ハッピー・マーブル) [上原ゆかり] 「TPOに合わせた服を選ぶ」(帝人) <「TPO」が流行語になった>	
1964	昭和39年	「かあちゃん、いっぱいやっか」(神聖、山本他家) [伴淳三郎] 「おもかじ一杯、のりたまで三杯」(丸美屋) [桂小金治] 「飲んでますか」(武田薬品、アリナミン) [三船敏郎] 「ファイトでいこう」(大正製菓、リボビタミンD) [王貞治] 「おめえ、ヘソねえじゃねえか」(興和、コルゲン・コーワ) [保積ペペ] <カエルの人形に向かって言う> 「ボーエンだよ、ワイドだよ」(旭光学、アサヒペンタックス)	
1965	昭和40年	「私にも写せます」(富士写真フィルム、フジカシングル・8) [扇千景] 「ワンサカ娘」(レナウン) [歌：シルビー・バルタン]	
1966	昭和41年	「うちのテレビにゃ色がない」(三洋電機) [榎本健一] 「ルーチョンキ。あら!? アタシってダメねえ」(キンチョール) [桜井センリ]	
1967	昭和42年	「どこまでも行こう」(ブリヂストンタイヤ) 「おかあさん」(ハナマルキ味噌) <夕焼けを背に少女が一声叫ぶ>	
1968	昭和43年	「わんぱくでもいい、たくましく育てほしい」(丸大ハム) 「大きいことはいいことだ、おいしいことはいいことだ、50円とはいいことだ」(森永製菓、エールチョコレート) [山本直純] 「痛快まるかじり！」(明治製菓)	
1969	昭和44年	「オー、モーレッツ！」(丸善石油) [出演：小川ローザ] <純白のスカートが風に>	

		あおられた瞬間に発するせりふ 「みじかびの きゃぶりてとれば すぎちよびれ すぎかきすらの はっぱふみ ふみ、わかるね」(パイロット万年筆、エリートS) [出 演: 大橋巨泉]	
1970	昭和 45 年	「男は黙ってサッポロビール」(サッポロビール) [出 演: 三船敏郎] 「ハヤシもあるですよ!」(オリエンタルカレー) [出 演: 南利明] 「モーレッツからビューティフルへ」(富士ゼロックス) 「ディスカバー・ジャパン」(国鉄)	
1971	昭和 46 年	「隣のクルマが小さく見えます」(日産サニー 1200) <隣のクルマとはトヨタカ ローラのことを暗に言っている> 「じゃーにー」(じゃーにーコニカ) [井上順] <「じゃーね」を商品名とかけて 言った> 「ガンバラなくっちゃ」(中外製薬、新グロモント) 「クルマはガソリンで動くのです」(モービル石油)	
1972	昭和 47 年	「若さだよ、ヤマちゃん!」(サントリー純生) [佐藤允] 「あんた松下さん? オレ、社長の代理」(ナショナル・マック) [愛川欽也]	
1973	昭和 48 年	「ぼくタコの赤ちゃん……ネッ、ソニーだとよく見えるでしょ」(ソニー、トリ ニトロン・カラーテレビ) 「…と、日記には書いておこう」(龍角散トローチ) 「三分間待つのだぞ」「腹が減ってもじっとガマンの子であった」(大塚のボンカ レー) [出演: 笑福亭仁鶴] <人気マンガ「子連れ狼」のパロディー>	
1974	昭和 49 年	「英語でやってごらんよ、なまってるよ、外人だろう、あんた」(松下電器、ク イントリックス) [坊屋三郎]	
1975	昭和 50 年	「アトム・ア・チャンピオン」(明治生命) 「ホッカホカだよ、おっかさん」(大正製薬、カップシブラスト) [前川清]	
1976	昭和 51 年	「どっちが得かよーく考えてみよう」(サクラカラー) [萩本欽一] 「パーフェクション」(オーソン・ウェルズ、ニッカウキスキー)	
1977	昭和 52 年	「トンドレラ、シンデレラ」(キンチョール) 「イワテケーン」(松下電器、クイントリックス) 「母さん、僕のあの帽子はどうしたんでしょうね」(人間の証明)	
1978	昭和 53 年	「あんたが主役」(サントリー) [出演: 加山雄三、キリン児、アサヒ国] 「君のひとみは 10000 ボルト」(資生堂) 「ピカピカの一年生」(小学館) 「UFO」(日清食品) [出演: ピンク・レディー] 「いい日旅立ち」(国鉄)	
1979	昭和 54 年	「がんばれ! ニッポン」(美津濃)	
1980	昭和 55 年	「いまの君はピカピカに光って」(ミノルタカメラ) [出演: 宮崎美子] 「これ、お見合い写真なものですから、特に美しく…」「フジカラーでしたら、 美しい人はより美しく、そうでない方は…」「そうでない方は?」「それなりに写 ります」「それなりに、ですか。それなりに…」「あ、お客さん、お名前は?」「綾 小路だけど、裏の。さゆり。知らなかった?」(フジカラー) [出演: 樹木希林、 岸田加代子]	

1981	昭和 56 年	ブルムーン (国鉄) [出演: 上原謙、高峰三枝子] 「ハエハエ、カカカ、キンチョール」「よろしいんじゃないですか」 [出演: 柄本 明、郷ひろみ] <患者と歯科医のやりとり>
1982	昭和 57 年	「メンフラハップにあやまんなさい」(大正製薬) 「大胆なご意見ありがとうございました」(サントリー生樽) [藤島親方]
1983	昭和 58 年	「いかにも一般大衆が喜びそうなアイデアですね」(サントリー、生樽) [出演: レオナルド熊] 「タコが言うのよ」(サントリー、樹氷) [田中裕子] 「少し愛して、なが〜く 愛して」(サントリー、サントリーレッド) [出演: 大原麗子] <日本女性の気高 さ、無邪気さなど渾沌とした姿を美しく描いた>
1984	昭和 59 年	エリマキトカゲ (三菱自動車ミラーージュ) <大きなエリを広げて一生懸命走る姿 がかわいいと、一躍人気スターとなった> 「私はこれで会社を辞めました」(禁煙パイポ) 「ちゃっぶいちゃっぶい、どんとぼちい」(大日本除虫菊、キンチョーどんと)
1985	昭和 60 年	
1986	昭和 61 年	「亭主元気で留守がいい」(キンチョー、防虫剤「ゴン」)
1987	昭和 62 年	
1988	昭和 63 年	「5時から男」(グロンサン) [高田純次] 「勝手に氷」(東芝冷蔵庫) [岸本加代子]
1989	昭和 64 年	「24 時間戦えますか」(リゲイン)
1990	平成 2 年	
1991	平成 3 年	
1992	平成 4 年	「チューして」(小林コーセイ、ルシェリ) [出演: 唐沢寿明] <人前でキスする ことが平気になったといわれる現代の若者にマッチした>
1993	平成 5 年	
1994	平成 6 年	
1995	平成 7 年	「オー、アトムソーラー」(NOVA) 「恋は遠い日の花火ではない」(サントリー) [出演: 長塚京三]
1996	平成 8 年	
1997	平成 9 年	「女 30 歳、梅酒にはまる」(蝶矢洋酒醸造、梅酒) [出演: 松本明子] 「なんで?」(サントリー、モルツ) [出演: 鈴木京香] 「もうやだ、こんな生活」「じゃあ、どんな生活がいいの?」(カタログハウス、 通販生活)
1998	平成 10 年	「日本は世界でなめられてる。おれならガツンと言っちゃうよ」(サントリー、 缶コーヒー・ボス) [出演: クリントン大統領のそっくりさん] <飲み屋で息巻 くサラリーマン。でもいざクリントン大統領の前でると一言も言えない> 「♪Dハイ」(サントリー、ウイスキー) [出演: 小錦改め KONISHIKI]

		<巨体をゆすってウクレレを抱いて高音で歌う> 「松井を冷やせ」(久光製薬、エアーサロンパス) [出演: 巨人・松井秀喜選手]
1999	平成 11 年	「デキタテ飲ムカ、フジワラノリカ」(宝酒造、タカラCANチュウハイ) [出演: 藤原紀香] 「この曲を、すべての疲れている人へ」(三共、リゲインEB錠) [出演: 坂本龍一] <ピアノでいやしのメロディーをゆったり弾く> 「そろそろ買い替えモードじゃない?」(トヨタ自動車、小型車キャミ) <CGのダンシングペーパーを使用>
2000	平成 12 年	

資料: 年別流行曲・映画・テレビなど

	流行した歌謡曲など	流行した映画	人気テレビ番組
昭和15年 1940	紀元二千六百年	支那の夜	
昭和16年 1941	めんこい仔馬	元禄忠臣蔵	
昭和17年 1942	朝だ元気で	ハワイ・マレー沖海戦	
昭和18年 1943	勤太郎月夜唄	姿三四郎	
昭和19年 1944	ラバウル海軍航空隊	あの旗を撃て	
昭和20年 1945	お山の杉の子	そよ風	
昭和21年 1946	リンゴの唄	或る夜の接吻	
昭和22年 1947	啼くな小鳩よ	安城家の舞踏会	
昭和23年 1948	君待てども	酔いどれ天使	
昭和24年 1949	トンコ節	青い山脈	
昭和25年 1950	イヨマンテの夜	羅生門	
昭和26年 1951	ミネソタの卵売り	麦秋	
昭和27年 1952	テネシー・ワルツ	生きる	君の名は
昭和28年 1953	雪の降るまちを	東京物語	半七捕物帳
昭和29年 1954	高原列車は行く	ゴジラ	今晚はメイコです
昭和30年 1955	田舎のバスで	夫婦善哉	私の秘密
昭和31年 1956	若いお巡りさん	ビルマの壱撃	チロリン村とくるみの木
昭和32年 1957	東京だよおっ母さん	幕末太陽伝	名犬ラッシー
昭和33年 1958	嵐を呼ぶ男	陽のあたる坂道	月光仮面
昭和34年 1959	南国土佐を後にして	人間の条件	七色仮面 まぼろし探偵
昭和35年 1960	誰よりも君を愛す	青春残酷物語	ナショナルキッド
昭和36年 1961	銀座の恋の物語	大学の若大将	ズバリ当てましょう
昭和37年 1962	可愛いペーパー	キューポラのある街	てなもんや三度笠
昭和38年 1963	見上げてごらん夜の星を	天国と地獄	底抜け脱線ゲーム
昭和39年 1964	愛と死をみつめて	愛と死をみつめて	忍者部隊月光
昭和40年 1965	柔	東京オリンピック	青春とは何だ
昭和41年 1966	星影のワルツ	白い巨塔	おはなはん
昭和42年 1967	ブルー・シャトー	日本のいちばん長い日	コメットさん
昭和43年 1968	天使の誘惑	黒部の太陽	巨人の星
昭和44年 1969	いいないの幸せならば	男はつらいよ	8時だよ! 全員集合
昭和45年 1970	今日でお別れ	戦争と人間	ありがとう
昭和46年 1971	また逢う日まで	儀式	おれは男だ!
昭和47年 1972	喝采	海軍特別年少兵	太陽にほえろ!
昭和48年 1973	五番街のマリーへ	日本沈没	国盗り物語
昭和49年 1974	襟裳岬	砂の器	愛と誠
昭和50年 1975	シクラメンのかほり	新幹線大爆破	プロポーズ大作戦
昭和51年 1976	北の宿から	犬神家の一族	男たちの旅路
昭和52年 1977	勝手にしやがれ	幸福の黄色いハンカチ	お笑い漫画道場
昭和53年 1978	U.F.O. 微笑がえし	サード	熱中時代
昭和54年 1979	いとしのエリー	あゝ野麦峠	ドラえもん
昭和55年 1980	雨の慕情	遥かなる山の呼び声	3年B組金八先生
昭和56年 1981	ルビーの指輪	泥の河	おれたちひょうきん族
昭和57年 1982	北酒場	蒲田行進曲	笑っていいとも!
昭和58年 1983	矢切の渡し	戦場のメリークリスマス	ふぞろいの林檎たち
昭和59年 1984	長良川艶歌	風の谷のナウシカ	山河燃ゆ
昭和60年 1985	ミ・アモーレ	ビルマの壱撃	毎度おさわがせします
昭和61年 1986	DESIRE—情熱—	火宅の人	風雲! たけし城
昭和62年 1987	愚か者	マルサの女	ねるとん紅鯨団
昭和63年 1988	パラダイス銀河	となりのトトロ	クイズ百点満点
平成 1年 1989	川の流れるように	魔女の宅急便	春日局
平成 2年 1990	おどるポンポコリン	男はつらいよ・寅次郎の	ちびまる子ちゃん
平成 3年 1991	北の大地	息子	東京ラブストーリー
平成 4年 1992	君がいるだけで	シコふんじゃった	信長
平成 5年 1993	ロマンスの神様	月はどっちに出ているか	高校教師
平成 6年 1994	イノセントワールド	平成狸合戦ぽんぽこ	人間・失格
平成 7年 1995	ラブ・ラブ・ラブ	午後の遺言状	八代将軍吉宗
平成 8年 1996	Don't wanna cry	Shall we ダンス	ふたりっ子
平成 9年 1997	Can You Celebrate?	もののけ姫	あぐり
平成 10年 1998	夜空ノムコウ		やんちゃくれ
平成 11年 1999	だんご3兄弟	となりの山田くん	あすか
平成 12年 2000			葵徳川三代

現在の那加第二小学校の周辺（1997年2月撮影）



第 3 部 資 料 編

- ・平成元年度～平成12年度の歴代職員一覧
- ・平成元年度～平成12年度の歴代PTA三役一覧

平成元年度から平成12年度までの那加第二小学校職員一覧(1)

	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度
校長	加藤 和夫	加藤 和夫	加藤 和夫	加藤 和夫	岸 年一	岸 年一
教頭	浅野 芳彦	深尾 憲爾	深尾 憲爾	深尾 憲爾	深尾 憲爾	深尾 憲爾
教務主任	阿部 道子	阿部 道子	高橋 雅裕	高橋 雅裕	高橋 雅裕	高橋 雅裕
生徒指導	曾我 利雄	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之
校務主任	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之	浜田 博之
養護教諭	西村三恵子	西村三恵子	西村三恵子	本多 純子	本多 純子	本多 純子
事務職員	中村 眸	中村 眸	山村 美幸	山村 美幸	山村 美幸	小野寺 誠
栄養士	小栗 公子	小栗 公子	小栗 公子	小栗 公子	小栗 公子	小栗 公子
1年1組	加藤あや子	加藤あや子	三輪 陽子	佐野 香代	中島真砂子	山田 裕子
1年2組	堀 純栄	大野 温子	古田 圭子	山本 ゆか	酒井 諭佳	加藤 敬子
1年3組	春日井智子	野沢 美晴	山路ゆかり	加藤 敬子	山本 ゆか	山田 玲子
1年4組	恩田百合子	石神 睦子	石神 睦子			
2年1組	田中 圭子	加藤 初美	野沢 美晴	大原 岳男	山田 裕子	中島真砂子
2年2組	西垣 和恵	田中 教悟	加藤あや子	三輪 陽子	加藤 敬子	酒井 諭佳
2年3組	多賀 俊之	古田 圭子	土本 純栄	堀田 桂子	藤吉 礼子	山本 ゆか
2年4組			多賀 俊之	山路ゆかり	加藤 初美	
3年1組	河田 尚美	竹内 美鈴	岩田佳代子	原 加代子	大原 岳男	脇田 律子
3年2組	塚本 修	林 千賀子	加藤 初美	山田 裕子	天野 貴子	牧田 伸司
3年3組	三田 尚美	石川 敏文	山口 正弘	石黒 忠	堀田 桂子	堀田 桂子
3年4組	岩田佳代子			竹内 美鈴	國井 孝世	天野 貴子
4年1組	左合 悟	堀 純栄	林 千賀子	山口 正弘	中島 久司	平野 好一
4年2組	世良 明子	岩田佳代子	石川 敏文	寺田 武義	三輪 陽子	國井 孝世
4年3組	石川 敏文	山内 裕行	竹内 美鈴	加藤 初美	松浦 栄子	林 千賀子
4年4組	河合 峰子	三田 尚美			牧田 伸司	
5年1組	石黒 忠	北村 和子	山内 裕行	林 千賀子	山田 玲子	大原 岳男
5年2組	旭 直美	山口 正弘	三田 尚美	石神 睦子	寺田 武義	豊田 桂子
5年3組	竹内 敦子	西垣 和恵	渡邊 香代	平野 好一	山口 正弘	中島 久司
5年4組	山中 一悦	塚本 修	大野 温子			原 加代子
6年1組	野沢 美晴	石黒 忠	加藤 敬子	大野 温子	林 千賀子	寺田 武義
6年2組	田中 教悟	旭 直美	塚本 修	三田 尚美	服部 祐佳	山口 正弘
6年3組	水野 晴美	山路ゆかり	北村 和子	山田 玲子	平野 好一	服部 祐佳
6年4組	水辺 義和	多賀 俊之	石黒 忠	山内 裕行		
特 殊	五島 君子	五島 君子	五島 君子	五島 君子	五島 君子	五島 君子
講 師			阿倍美代子	沢井 昌子	比嘉由喜美	
講 師			川瀬 裕子		森 寿子	
初任担当				加藤あや子		
外国人子					脇田 律子	三輪 陽子
用務員	白木 文子	白木 文子	白木 文子	白木 文子	白木 文子	平松恵美子
調理員	牧田美年子	牧田美年子	牧田美年子	横山 俊子	横山 俊子	横山 俊子
調理員	多田 弘子	多田 弘子	多田 弘子	多田 弘子	多田 弘子	多田 弘子
調理員	北山 清子	北山 清子	北山 清子	北山 清子	北山 清子	北山 清子
調理員	藪下 晴美	藪下 晴美	藪下 晴美	五百蔵晶子	五百蔵晶子	五百蔵晶子
調理員	中条かおる	中条かおる	中条かおる	中条かおる	中条かおる	加藤 幸子
図書整理員	太塚 敬子	太塚 敬子	太塚 敬子	太塚 敬子	太塚 良江	太塚 良江

平成元年度から平成12年度までの那加第二小学校職員一覧(2)

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
校長	赤座 好敏	赤座 好敏	辻 篤司	辻 篤司	土屋 勝司	土屋 勝司
教頭	西垣 誠	西垣 誠	西垣 誠	森 進一	森 進一	田中 教悟
教務主任	高橋 雅裕	村井 俊之	村井 俊之	村井 俊之	村井 俊之	村井 俊之
生徒指導	浜田 博之	中島真砂子	中島真砂子	中島真砂子	豊田 桂子	豊田 桂子
校務主任	浜田 博之	山口 正弘	吉野 光浩	長縄 泰朗	長縄 泰朗	長縄 泰朗
養護教諭	坪内つるよ	坪内つるよ	坪内つるよ	坪内つるよ	坪内つるよ	奥村 尚子
事務職員	寺島 賢一	寺島 賢一	寺島 賢一	若山 純子	若山 純子	若山 純子
栄養士	小栗 公子	小栗 公子	辻 早苗	辻 早苗	辻 早苗	辻 早苗
1年1組	中島真砂子	加藤 敬子	野田久美子	奥田 恵子	亀谷真由美	仲野 夏成
1年2組	棚橋菜穂子	戸田真由美	脇田 律子	宝谷 宏子	大沼 良枝	村瀬 光子
1年3組	宝谷 宏子	服部 祐佳	宝谷 宏子	村瀬 洋子	脇田 律子	大沼 良枝
1年4組	森 百合枝					
2年1組	桃井喜美代	米田 紀子	加藤 敬子	野田久美子	奥田 恵子	亀谷真由美
2年2組	加藤 敬子	棚橋菜穂子	亀谷真由美	脇田 律子	野田久美子	宮脇 和典
2年3組	酒井 諭佳	加藤 郁子	石井菜穂子	大沼 良枝	宝谷 宏子	国定加代子
2年4組		脇田 律子				
3年1組	松原 由紀	水谷 武志	伊藤由美子	向田 佳代	猪口 美砂	佐々木万貴
3年2組	下田有希子	宝谷 宏子	向田 佳代	嶋口 祐子	嶋口 祐子	嶋口 祐子
3年3組	堀田 桂子	國井 孝世	丸井 昌江	鈴木 弘代	水谷 武志	徳久 純子
3年4組			豊田 桂子			
4年1組	脇田 律子	伊藤由美子	奥田 恵子	丹羽 弘	村瀬 洋子	猪口 美砂
4年2組	服部 祐佳	長縄 泰朗	米田 紀子	伊藤由美子	丹羽 弘	松原 由紀
4年3組	小倉 国義	堀田 桂子	長縄 泰朗	豊田 桂子	仲野 夏成	水谷 武志
4年4組	天野 貴子					
5年1組	山口 正弘	松原 由紀	大沼 良枝	国定加代子	宮脇 和典	丹羽 弘
5年2組	豊田 桂子	清水 久司	水谷 武志	松原 由紀	鈴木 弘代	宝谷 宏子
5年3組	林 千賀子	向田 佳代	加藤 郁子	吉野 光浩	佐々木万貴	横山 光子
6年1組	原 加代子	山口 正弘	松原 由紀	宮脇 和典	国定加代子	吉野 光浩
6年2組	清水 久司	豊田 桂子	宮脇 和典	水谷 武志	松原 由紀	鈴木 弘代
6年3組	大原 岳男	林 千賀子	堀田 桂子	加藤 郁子	吉野 光浩	高田 早弓
6年4組						
特殊	牧田 伸司	牧田 伸司	嶋口 祐子	丸井 昌江	丸井 昌江	丸井 昌江
特別講師			深尾 明美	深尾 明美	深尾 明美	深尾 明美
外国人子	三輪 陽子	三輪 陽子	三輪 陽子	米田 紀子	米田 紀子	木田 敦子
用務員	平松恵美子	平松恵美子	平松恵美子	平松恵美子	中田 京子	中田 京子
調理員	横山 俊子	横山 俊子	森 孝子	森 孝子	森 孝子	森 孝子
調理員	服部 蓉子	服部 蓉子	服部 蓉子	服部 蓉子	広井 光子	広井 光子
調理員	五百蔵晶子	波多野久美子	波多野久美子	波多野久美子	福田すゞ子	福田すゞ子
調理員	北山 清子	北山 清子	北山 清子	加藤 幸子	加藤 幸子	馬場 民子
調理員	加藤 幸子	加藤 幸子	加藤 幸子			
介護員				熊田 美雪	熊田 美雪	熊田 美雪
					山岸 千秋	山岸 千秋
図書整理員	大塚 良江	大塚 良江	大塚 良江	大塚 良江	大塚 良江	大塚 良江

平成元年度～平成12年度

歴代PTA本部役員一覧

	会長	副会長	書記	会計
平成元年度	大野 道伯	津川 英明	/	田中まき子
		永田 暁子		
平成2年度	津川 英明	岩田 耕一	/	西村 直樹
		田中まき子		
平成3年度	西村 直樹	橋本 憲明	赤地 栄実	牧田 光宏
		大塚 良江		
平成4年度	橋本 憲明	牧田 光宏	宮島 正子	徳田 泰昭
		丹羽美智子		
平成5年度	牧田 光宏	松岡 秀人	吉村 春子	大平 孝大
		河合 綾子		
平成6年度	松岡 秀人	大平 孝大	小椋 桂子	橋本 功
		有海 時子		
平成7年度	大平 孝大	橋本 功	松岡 陽子	田中 雄三
		河村美由紀		
平成8年度	橋本 功	田代 栄司	徳田 尚美	田中 雄三
		仲野多見子		
平成9年度	田代 栄司	尾崎 康弘	本田 明美	長谷川一男
		松田 洋子		
平成10年度	尾崎 康弘	広瀬 功司	福富 敬子	酒井由美子
		大澤 洋子		
平成11年度	広瀬 功司	坪井 晋	佐々木やす子	永田 純子
		福田 幸永		
平成12年度	坪井 晋	今尾 春由	大坪 邦子	石井 雅代
		高橋美恵子		

参考・引用文献

- 各務原市民の戦時体験 (各務原市教育委員会)
各務原市民の戦時写真 (各務原市教育委員会)
各務原市民の戦時記録 (各務原市教育委員会)
各務原市史 通史編 現代
那加町史
岐阜県戦後50年世相史 (岐阜新聞社)
戦後社会科教科書
まさおのたび
たろう
日本のむかしと今
大むかしの人々
村の子ども
気候と生活
くにのあゆみ
新しい憲法の話 (以上文部省)
那加第二小50周年記念誌
一億人の昭和史 7巻
8巻
9巻 (毎日新聞社)
思い出の各務原 (郷土出版社)
日本20世紀館 (小学館)
文集「つくし」(本校所蔵)
那加第二小PTA広報
岐阜大学農学部卒業生名簿 (岐阜大学農学部同窓会)
「かかみがはら」(小学校中学年用副読本 平成 2年度版) 各務原市教育委員会
「かかみがはら」(小学校中学年用副読本 昭和57年度版) 各務原市教育委員会
「かかみがはら」(小学校中学年用副読本 昭和51年度版) 各務原市教育委員会
その他の写真提供
横山 進 様

新聞紙面にみる那加第二小学校

1998年から2000年9月までで本校が紹介された新聞記事(岐阜新聞)の一部です。

1998/10/20 各務原市3小中校が合同で奉仕活動

各務原市の桜丘中学校(後藤宏一校長、生徒六百五人)、那加第二小学校(辻篤司校長、児童六百三十六人)、尾崎小学校(上野欣也校長、五百十三人)の三校は十九日、一斉に各校区で清掃奉仕活動を行った。「たくましく生きる力を育てるコミュニティースクールづくり」の三校共通テーマのもと、地域とふれあい、自分たちの町を美しくしようという活動。

この日、児童生徒約千八百人が参加。ごみ袋、竹ぼうきを手に、それぞれの受け持ちに分かれて、ごみや空き缶、落ち葉拾い、草むしりに取り組んだ。

台風10号が通過した後だけに落ち葉は多く、児童生徒らは「きれいになって気持ちがいいね」と声を弾ませていた。

1999/06/12 小さな親切運動県本部の十周年記念総会

小さな親切運動県本部(代表・土屋齊大垣共立銀行名誉会長)の十周年記念総会が十一日、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれ、「小さな親切」を実行した個人や、団体を表彰した。

同運動は、目立たないが心温まる行為をした人を表彰しようと、一九六三(昭和三十八)年から始まった。同県本部は八九(平成元)年七月に設立され、これまでに個人五百七十八人、三百三十六団体に実行章を贈っている。

総会には、会員ら約百四十人が出席。土屋代表が「小さな親切を実行する人が増加しており、今後も活動を推進していきたい」とあいさつ。本年度予算やクリーン作戦、コスモスの種を植えるコスモス作戦の展開などの本年度事業など決めた。駅のベンチで苦しむ男性を見て一九番通報し、救急車到着まで励ました、益田郡萩原町の高校生武川学さん(17)、武川洋さん(17)ら、小さな親切を行った個人二十四人、三十一団体、警察官十人に、土屋会長が実行章を贈った。

同県本部では、十三日に県内各地で清掃活動やコスモスの種を配布する。

実行章を受けたのは次の皆さん。

【団体】赤坂小学校区社会福祉推進協議会、興文中学校生徒会、イビデン友の会、ゴミマスターズ(大垣市)安八町食生活改善協議会(安八郡安八町)各務原市中央野球スポーツ少年団、同市食生活改善協議会、大垣共立銀行各務原支店、桜丘中学校生徒会、**那加第二小学校 児童会、同校六年生(各務原市)** 県視聴覚障害者福祉協会郡上支部(郡上郡美並村)飛騨路ふるりの会、トーエネック岐阜北営業所、ガールスカウト県第三団、鏡島小学校五年生(岐阜市)県東部電気工事協同組合青年部、神坂中学校生徒会、中津川掃除に学ぶ会(中津川市)養老町笠郷婦人会、同町広幡婦人会、上多度小学校四年生(養老郡養老町)平田町4HC、ヨセミデの会(海津郡平田町)南ヶ丘中学校、多治見中学校生徒会(多治見市)東濃養護学校高等部、同部縫製班(土岐市)本巣高校家庭クラブ(本巣郡糸貫町)高山小学校(恵那郡福岡町)ひまわりグループ(海津郡海津町)

1999/07/04 各務原市・那加第二小では将棋など24講座

各務原市那加雲雀町の那加第二小学校(土屋勝司校長、児童六百二十三人)は三日、「学校開放デー」として地域住民らを講師に招いた公開講座を開催。子供や父母らが楽しく学んだ。

公開講座は、同校PTA(広瀬功司会長)が主体となって昨年からは本格的に実施。今回は校区の住民を中心に約七十人が特技などを持ち寄って、「昔の遊び」「洋和菓子作り」「パソコン」「将棋」「陶芸」などの二十四講座を開いた。

将棋講座は、日本将棋連盟各務原支部の柴山芳之支部長ら有段者が指導し、将棋の歴史、ルール、マナーの説明などを行った。陶芸講座は、多治見市内の製陶関係者が講師となり、父母、子供たちが皿や茶わん作りに挑戦した。

1999/11/06 **各務原市的那加第二小学校で
小学校社会科研究協議会研究大会**

テレビ会議システムを使った学習を実践している各務原市那加雲雀町の那加第二小学校（土屋勝司校長、児童六百二十人）で五日、小学校社会科研究協議会研究大会が開かれ、児童が同システムなどを使った情報教育の授業を披露した。

この日、県内四小学校で行われた全国研究大会の一つ。那加二小では、国の指導要項の改定で二〇〇二（平成十四）年度から新設される「総合的な学習」を先取りし、社会科の授業に情報化や福祉、体験学習などを盛り込んで総合学習を実践。

特に情報化では、配備されたパソコンを使い、インターネットを活用した授業や、西濃や奥美濃地方などの遠隔地と教室をテレビ会議システムで結ぶ学習などを行っている。

この日は全クラスで公開授業が行われ、テレビ会議システムの授業は四年二組が披露した。海津郡海津町の農家と教室を結んでトマトの栽培について学習し、農家から説明を受けたり、児童らが育て方を発表したりして、見学に訪れた県内外の教職員らに同システムの効果を示した。

1999/12/05 **各務原市那加第二小学校で「学校開放デー」**

各務原市那加雲雀町の那加第二小学校（土屋勝司校長、児童六百二人）で、学校を地域交流の場として開放する行事「学校開放デー」が四日行われ、各種の講座を通して子供や住民らがふれあいを深めた。

同小PTA（広瀬功司会長）の企画した行事。校区外からも広く講師役のボランティアを募り、ペットボトルで作るロケット講座や将棋講座、しめ縄講座、もちつき講座など十九種類の講座を設定。地域住民に参加を呼び掛けた。

児童や父母のほか、講座に興味を持った住民ら総勢千人以上が来校し、希望する講座を体験した。講師の中にはプロの陶芸家などもあり、参加者らは熱心に学習。洋菓子講座では、親子連れがプロの職人からクリスマスケーキ作りなどを教わり、卵や小麦粉などを材料に、おいしそうなケーキを作っていた。

2000/02/09 **各務原市的那加第二小学校で
青少年育成推進委員などによる授業参観が行われる**

各務原市那加雲雀町の那加第二小学校（土屋勝司校長、児童六百二十一人）で、校区の青少年育成推進委員などによる授業参観が八日行われ、健全育成に携わる委員らが、子供らの学習ぶりをつぶさに見学した。

参観したのは同推進委員のほか、民生児童委員、少年補導員の全部で三十人。地域の健全育成の指導的立場にある委員らが、学校での生活ぶりを見て、今後の指導の参考にしていこうと企画。同小も地域・家庭・学校が連携した「開かれた学校」づくりに取り組んでいることから、特別な授業は用意せず、委員らに自由に見学してもらおうと、普段の授業風景を公開した。

委員らは各学年を回り、子供らの学習姿勢や授業の進め方などを視察。四年生の社会科の授業では、インターネットで他県の資料を取り寄せるパソコン学習などを見学した。委員らはコンピューターを自在に操作する子供たちに驚きながら、「みんな積極的に勉強しており、表情も生き生きしている」「落ち着いて授業を受ける姿が印象的」などと感想を語っていた。

2000/05/04 **各務原市内の五小中高校の
校舎などで窓ガラス割られる**

三日未明、各務原市内の五小中高校の校舎などで窓ガラスが相次いで割られる事件があった。五校は半径約一キロ以内と近く、棒状のものでたたき割ったような手口が似ていることから、同一犯による悪質ないたずらとみて、各務原署で器物損壊容疑で調べている。

同日午前零時四十五分ごろ、同市那加雲雀町の那加第二小学校（土谷勝司校長）と、隣接する各

務原養護学校（佐久間朋子校長）の付近の住民から「午前零時すぎにガラスが割れる音がした」と一〇番通報があった。同署員が駆けつけたところ、両校の校舎や体育館の窓ガラス計三十五枚が割られていた。

さらに、同市那加東垂町、那加第三小学校（小森芳順校長）、同所、那加中学校（長谷川清校長）、同市那加手力町、岐阜女子商業高校（岩田重信校長）でも同日朝、出勤してきた教員や登校してきた生徒らが割れている窓ガラスを見つけ、それぞれ届けた。

調べでは、五小中高校で割られて窓ガラスは五十二枚の計六十六枚。被害総額は約七十万円。いずれも人目につきにくい、校舎の奥や中庭に面する窓ガラスが棒状のもので外側からたたき割られていた。校舎内に侵入した形跡はなかった。

2000/05/07 **各務原市内の小中学校、窓ガラスが割られる被害**

大型連休で四日ぶりの登校日となった六日、校舎などの窓ガラスが割られる被害を受けた各務原市内の小中学校では児童、生徒が三日未明の事件以後、初めて、ベニヤ板などで応急処置された学校を目の当たりにし、心を痛めた。

同市内では那加地区の小中学校二校と中学校、養護学校、高校の各一校が被害に遭い、全部で約七十枚の窓ガラスが割られた。休日返上で教職員らがガラスの破片を掃除するなどし、一部の学校では修理も行われたものの、連休の関係で大半のガラスは修理が八日の月曜日以降となり、ベニヤ板などで窓を押さえるなど応急処置が取られている。

登校日のこの日、被害に遭った小学校では朝の職員打ち合わせ会が開かれた後、クラス担任を通じて児童らに「事件」を説明。ガラスの破片などには注意するよう指導した。

校舎や体育館のガラス二十六枚が被害に遭った那加雲雀町の那加第二小学校（児童六百二人）では、痛々しい校舎や体育館の様子に児童らが言葉を失った。この日は全校一斉下校日で、下校前の集会では土屋勝司校長があらためて事件を説明し、「大変悲しい出来事があり、残念。皆さんもガラスには十分に注意し、けがのないように」と話した。同小では、地域のスポーツ団体が休日などにグラウンドや体育館を使用し練習しているが、修理が済むまで当分、使用を見合わせるよう関係団体に通達した。

また、今回の被害で、教職員が連日交代で校内を見回る学校もあり、悪質な行為に監視の目を光らせている。

2000/05/10 **各務原市的那加第二小と
尾崎小で5年生からの英語学習がスタート**

小学校五年から中学レベルの英語習得を目指す英語学習が、各務原市的那加第二小（土屋勝司校長、児童六百二人）と尾崎小（遠藤祥久校長、同五百十九人）でスタートした。九日には、英語の学習ソフトを開発した元岐阜大教授の藤掛庄市市教育委員が那加第二小を訪れて、児童の学習ぶりを視察した。

英語教育に力を入れる同市では、桜丘中学校と同中校区の二小学校をモデル校に定め、英語学習を本年度から実施。小学五年から中学一年までの三カ年をめどに、CDの学習ソフトを使って中学三年間程度の英語習得を試みる。

学習は、授業とは別枠の週二回ずつ設定された「総合的な学習」の時間に実施。三カ年の初年度に当たる本年度は五年生のみだが、二小とも学校独自の取り組みとして六年生にも同学習を導入し、実践していく。

藤掛市教育委員によると、学習ソフトは「形容詞や動詞を系統的に組み上げているのが特徴」といい、映像や音声織り交ぜて反復学習できるシステム。語量も「中学レベルの四倍以上」あるが、「自然に身に付くようプログラムを組んである」という。

那加第二小学校ではこの日、五年二組で英語学習が行われ、児童らがソフトを入れたパソコンを操作して勉強した。学校も初の試みだけに、藤掛市教育委員から学習の進め方などについて教師らがアドバイスを受け、ソフトの上手な生かし方を教わっていた。

児童らは、まだ初歩の段階だが、ソフトの音声に英語で答えたり、音声をまねて発音するなど楽しそうに学習。「面白くて分かりやすい」「自分で勉強が進められる」などと感想を語っていた。

付録：本校の歩みの中から

平成12年度 全国小学校社会科研究協議会研究大会 岐阜大会会場校紹介
(岐阜大会 大会要項より引用)

全国小学校社会科研究協議会研究大会は、平成11年11月5日・6日に岐阜県で開催されました。会場は、岐阜市立白山小学校、岐阜市立鷺山小学校、大垣市立興文小学校、各務原市立那加第二小学校の4会場に全国から約2000名の先生方が参観に訪れました。

各務原市立那加第二小学校



所在地 〒504-0836 各務原市那加雲雀町1
電話 0583-82-2241
Eメール naka2sho@he.mirai.ne.jp
URL http://www.mirai.ne.jp/~naka2sho/
校長名 土屋 勝司
学級数 19学級
児童数 620名



学校の紹介

本校は昭和15年に創立し、59年目を迎える。各務原市の西方に位置し、校区には市役所を始め官公庁舎が集中し、商店街や大型スーパーもあり、活気のある市街地を形成している。昭和62年より9年間、国語の研究を継続し成果を上げた。現在は、学校・家庭・地域が連携した各務原市教育委員会教育トライアングル事業を展開し、多くの人々が教育活動に積極的な関わりを持つようになった。社会科・生活科の学習も地域のひととの関わりの中で推進し、着実な歩みを続けている。平成元年度「博報賞」受賞。

1, 本校の学校開放デーの経緯について

本校では、市の教育トライアングル事業(学校・地域・家庭の連携事業)を受けて、学校開放デーを平成9年度に試行的に実施し、平成10年度から本格的に実施してきている。その基本的な構想は以下のようなものをふまえておこなってきた。

(1) 学校開放デー実施にあたっての基本的な考え

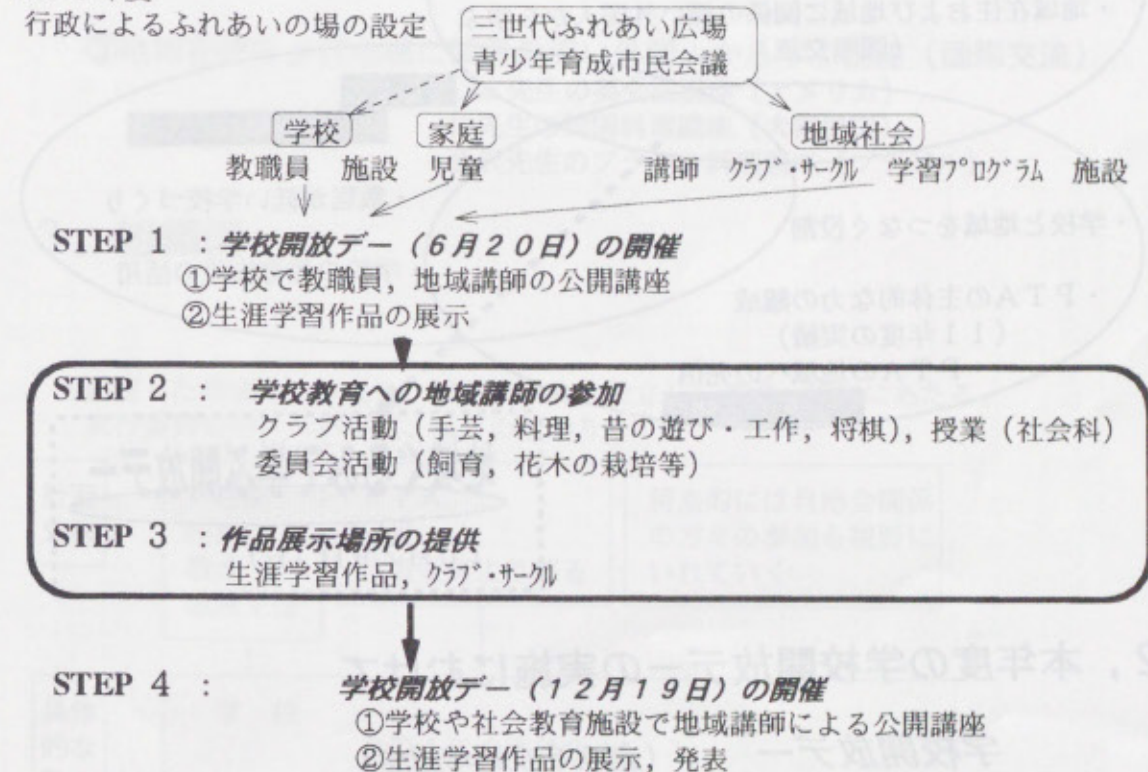
学校開放デーを軸に学社連携から学社融合へ

基本ビジョン

平成9・10年度の2年間にわたり、各務原市教育委員会の指定を受け、教育トライアングル事業で学校・家庭・地域を結んだ活動を展開してきたところである。学校週5日制の完全実施の前に、子どもに生きる力を育む必要性が叫ばれている。そこで、今まで以上に学校、家庭、地域の果たすべき役割を明確にするとともに、互いに連携を図って、総合的に子どもを育む力を育てていく。また、学社融合を推進することにより、地域の教育力を高めたり、社会教育施設の活性化を図り、生涯学習の一層の推進を目指す。

実践のステップ

H10年度



H11年度

STEP 5 :

学校開放デーの開催

- ①社会教育施設または学校で地域講師の公開講座
- ②生涯学習作品の展示

講師育成
機能

STEP 6 :

地域指導者の参加

クラブ活動, 授業, 特別活動(飼育, 栽培等)

講座開設
機能

STEP 7 :

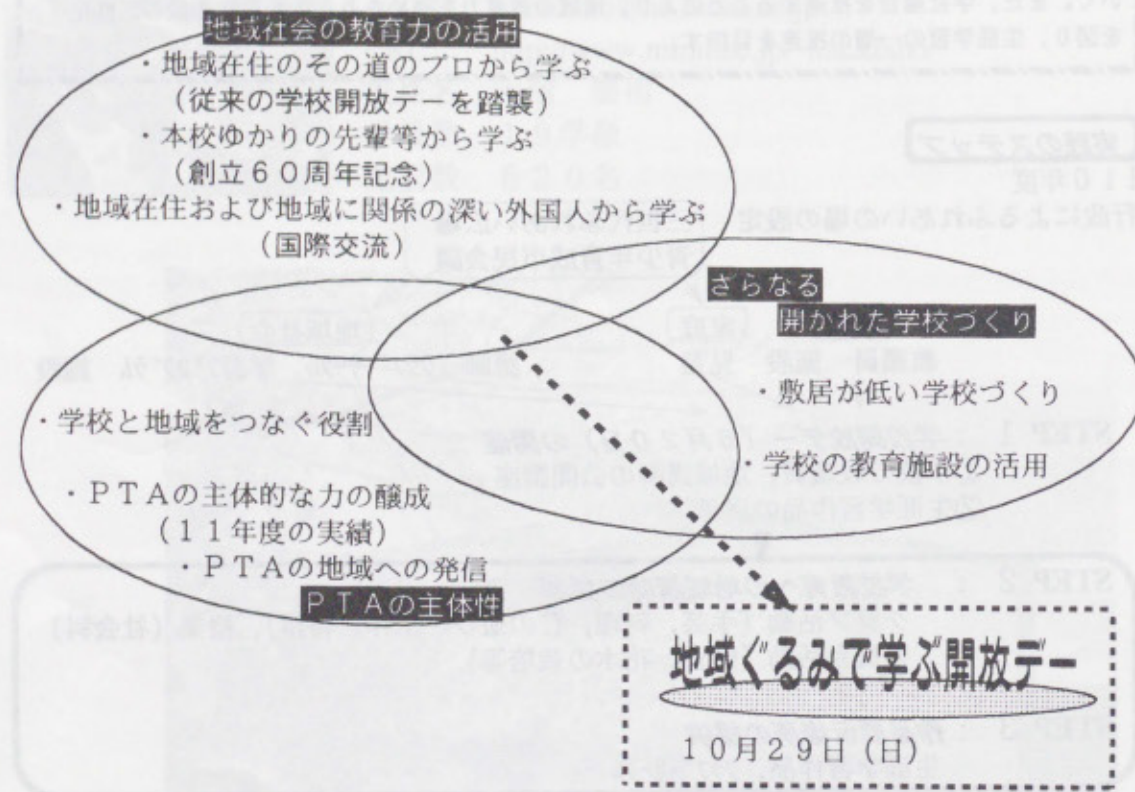
作品展示及び交流

交流機能

- ①学校でサークル等の作品展示, 発表
- ②社会教育施設で児童作品の展示
- ③社会教育施設等での福祉, ボランティア活動に参加

(2) 平成12年度の基本的な構え

基本ビジョン
 平成10・11年度の実績をふまえて、学社融合をさらに深めていくことをねらいながら、本年度が本校創立60周年にあたることから、地域にさらに開かれた学校、敷居の低い学校をめざしていきたい。その願いをふまえ、学校開放デーを実施する。



2, 本年度の学校開放デーの実施にむけて

学校開放デー (創立60周年記念)

- 1) 日時 平成12年10月29日(日) 9:00~12:00
- 2) 場所 那加第二小学校及び周辺社会教育関連施設
 ○那加第二小学校~教室, 体育館, ひばりホール, 運動場
 ○社会教育関連施設~メディアセンターパソコンルーム, 等
 市勤労会館・那加福祉センター
- 3) 対象者 児童, 保護者, 教職員, 地域住民

4) 内容

①地域指導者(及び学校教職員)による公開講座の開催

- 従来の開放デーの講座
- フラワーアレンジメント・紙飛行機
 - マンガ・Tゴルフ・ペットボトルロケット
 - パソコン・あみもの・洋菓子・和菓子
 - 映画・トールペイント
- 今年度の新講座
- ホッケー (岐阜県グリーンスタジアム使用)
- 低学年向き講座
- 砂絵・シャボン玉・ソーイング
 - ホッケー・手品・紙飛行機

②本校ゆかりの先輩等による特別講座

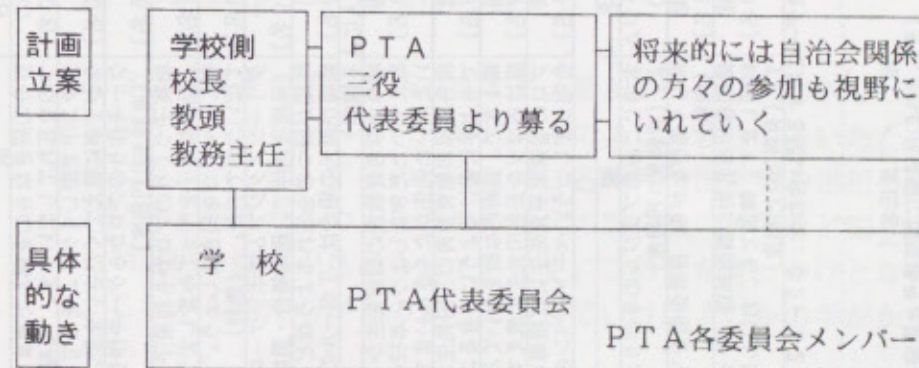
- 水墨画講座
- 絵画講座
- 書道講座
- 音楽講座

③地域在住および地域に関係の深い外国人から学ぶ講座(国際交流)

- ・Lisa先生の英会話講座(アメリカ)
- ・朴先生の韓国料理講座(大韓民国)
- ・金沢先生のブラジル料理講座(ブラジル)

3, 組織図

・前述した理念にのっとり、実行委員会を設立し、運営・実施にあたる。実行委員会のメンバーは、以下のとおり



編集後記

歴史は多くの人達に、多くの事を語り続けています。60年間の那加第二小学校の歴史の中には、たくさんの出会いと、ふれあいそして、素晴らしい思い出がいっぱい詰まっています。感じていただけましたか？ その時代を背景とし、学校は生き続け、たくさんの子供達を、たくましく育て続けてきました。そしてこれからも、21世紀という時代を背景とし子供達を育て続けていきます。20世紀という時代を礎とし、より一層、子供達の成長を地域ぐるみで考えていきたいと思ひます。この60周年の今を、新たな時代へのスタート地点と考え、みんな一緒に素晴らしい時代づくりをしていこうではありませんか。最後に、那加第二小学校が、この地域の人達の素晴らしい心のふる里として愛され続け、80周年、100周年を迎えられることを心より祈念申し上げ編集後記とさせていただきます。

地域と共に生きる心の糧として

記念誌『雲雀っ子』を読みますと、那加第二小学校の創立以来の歩みと、私たちの先輩や私たち自身がそれぞれの時代にどのように暮らしていたかが目に浮かんできます。編集に当たっては、学校の歩みと共に各時代の出来事や世相の資料も加えました。時代と共に歩んだ私たちの人生とその時代の歴史を生き生きと振り返ることができるようにしたいという願いが込められています。この本がきっかけとなってご家庭で話題が広がり、これから私たちがどのように生きていけばよいかの手がかりを考えることができれば幸いです。創立60周年という記念すべき節目の年に、学校開放デーが地域の方々とPTAの皆様の絶大なご理解とご協力によって開催されますことは大変意義深いことだと感謝しております。那加第二小学校が、『地域と共に生きる21世紀の児童を育てる学校』として益々発展することを祈念し、お礼の言葉と致します。(教頭 田中 教悟)

那加第二小学校保護者様

平成12年度(創立60周年記念)学校開放デーの開催について(参加希望アンケート)

平成12年度(創立60周年記念)学校開放デーの開催について(参加希望アンケート)

如貴の娘、保護者の皆様には益々ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。日頃はPTA及び学校の教育活動に携わって、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。皆様、ご家庭の皆様、ご近所の皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。つきましては、参加希望講座を下記の中から第三希望まで必ずご記入いただき9月11日(厳守)まで、学校担任まで提出いただきますようお願いいたします。ご希望にそえない場合もありますので、予めご了承ください。

- 1, 期日 平成12年 10月 29日(日) 8時30分~12時00分
2, 会場 那加第二小学校、勤労会館、那加福祉センター、各務原養護学校、桜丘中学校、グリーンスタジアム

3, 開設予定講座

低学年(1・2年)講座 (1・2年生の保護者の方は児童と同じ講座にご参加ください。)

Table with 3 columns: 講座番号, 講座名, 説明. Includes items like '1 絵画 (50名)', '2 ローンソー (50名)', '3 ミニホッケー (80名)'.

特別講座(本校ゆかりの著名人による講座)

Table with 3 columns: 講座番号, 講座名, 説明. Includes items like '19 絵画 (30名)', '20 書道 (30名)', '21 水画 (30名)'.

【参加希望講座】 (それぞれの希望前に講座番号と講座名を記入のこと)

Table with 3 columns: 見, 希望, 希望. Includes rows for '見 第1希望', '氏 参加保護者・家族など(1・2年生の保護者の方は児童と同じ講座にご参加ください。)'.

各務原市立那加第二小学校60周年記念実行委員会

坪井 晋	今尾 春由	高橋美恵子	大坪 邦子	石井 雅代
宮崎 美子	日吉 智子	北川 啓子	金武 美佳	関谷由美子
朝居佳代子	内田 宏江	箸屋 早苗	加藤富美子	磯野 祐子
前原 芳美	木村美恵子	久保美和子	松本 裕美	水谷利津子
鐘ヶ江奈津美				
土屋 勝司	田中 教悟	豊田 桂子	長縄 泰朗	若山 純子
奥村 尚子	辻 早苗	仲野 夏成	村瀬 光子	大沼 良枝
亀谷真由美	宮脇 和典	国定加代子	佐々木万貴	嶋口 祐子
徳久 純子	猪口 美砂	松原 由紀	水谷 武志	丹羽 弘
宝谷 宏子	横山 光子	吉野 光浩	鈴木 弘代	高田 早弓
丸井 昌江	木田 敦子	中田 京子	森 孝子	広井 光子
福田すゝ子	馬場 民子	熊田 美雪	山岸 千秋	大塚 良江

各務原市立那加第二小学校60周年記念誌

発行日 平成12年10月29日

発行者 那加第二小学校60周年記念実行委員会

発行場所 〒504-0836
岐阜県各務原市那加雲雀町1番地
TEL 0583-82-2241
URL <http://www.mirai.ne.jp/~naka2sho/>
E-mail naka2sho@he.mirai.ne.jp



171